

伯友

83

2023.10

特別企画

六甲学院現役生インタビュー

～第63回六甲学院文化祭「GLANZ」
82期三役のみなさんに聴きました～

OB講演会①

スマートメディア研究所 所長
山脇 岳志氏(39期)

OB講演会②

外務省・在ジブチ大使館 医務官・参事官
後藤 浩也氏(46期)



ご存じでしたか

六甲伯友会のホームページ

<https://www.hakuyu.jp/>



誌面の都合で会誌「伯友」に掲載できなかった記事も含まれています。
是非アクセスして閲覧してください。

コンテンツ内容

(2023年10月現在)

●六甲伯友会

- 六甲伯友会とは
 - 六甲伯友会会則
 - プライバシーポリシー
 - 六甲伯友会のあゆみ
- 六甲伯友会役員
- 会長挨拶
- 伯友[春号・秋号]
- ROKKOCHANNEL
 - YouTubeの紹介
- 伯友会費・伯友基金
- 伯友奨学基金
- 青春時代の思い出
 - 校歌(合唱)
 - 六甲学院讃歌(合唱)
 - 六年の春秋(合唱)
 - 六甲卒業生同窓の歌「伯母野の友よ」
- 伯友会歴史資料集
 - 学校20周年創立記念写真集
 - 校誌「六甲」(1号～56号)
 - 六甲歌集(vol.1～vol.5)
 - 六甲文芸
 - 文化祭プログラム
 - 柊
 - 体育祭プログラム

恩師・回想・追悼等

Therock六甲伯友会発行の冊子

会報誌「伯友」

〈No.1(1968年発行)～No.78(2021年発行)〉

リンク集

- 各期同期会
- クラブOB会
- 六甲学院・兄弟校関連
- 姉妹校同窓会
- 会員個人開設のHP

●ニュース・告知

- ニュース
- OB講演会
- PR広場

●投稿記事

- 寄稿・紀行・聴こう
- クラブOB会・同好会
- 支部だより
- 同期会だより

●問い合わせ

- 問い合わせ
- 住所変更等届け
- 投稿用
- 秋号送付に関して
- クラシファイド広告用

ホームページに掲載ご希望の方は原稿と写真等のデータを下記宛てにお送りください。

office@hakuyu.jp



X (旧Twitter) もあわせてご覧下さい。

フォローもお願いします。

六甲伯友会

https://twitter.com/rokko_hakuyu



六甲学院 公式「くま先輩の日誌」

https://twitter.com/rokko_hakuyu



目 次

□巻 頭 言	藤本久俊 (31)	1
□＜特別企画＞ 六甲学院現役生インタビュー		2
□役員・委員会		
2024年 伯友会懇親会 実行委員決定!!		9
□会務報告		
第1号議案 2022年度事業報告		10
第2号議案 2022年度収支決算報告		11
第3号議案 役員改選		12
第4号議案 2023年度事業計画		13
第5号議案 2023年度収支予算		14
□六甲伯友会総会・懇親会		
六甲伯友会総会・懇親会	戸田武志 (55)	15
関東支部		
2023年度 六甲伯友会 関東支部懇親会 開催されました	西 伸介 (55)	16
「令和塾」2022年度第3回イベント「伯友会 関東支部 大学生向けキャリア相談会」が開催されました	川原弘行 (50)	17
「令和塾」2022年度第2回勉強会「歴史から見た日中／日台関係」が開催されました	五百旗頭薫 (49)	17
シンガポール支部		
懇親会報告	吉田泰晴 (58)	17
シンガポール支部 活動報告	吉田泰晴 (58)	18
プチ懇親会報告	中村崇明 (50)	18
□サンゼルス支部		
□サンゼルス懇親会の報告	森下秀明 (42)	18
□メディア		19
TV放送		
有名私立受験ナビ サンテレビにて放送		
青春100K 兵庫・六甲学院 「汗と涙の総行進」		
サンテレビにて放送 ラグビー部出演		
42期・中田顕史郎氏がフジテレビの生放送ドラマに出演		
新聞		
上毛新聞「シネマの力」で映画監督の黒沢清氏 (31期) が紹介されました		
□同期会だより		20
13期、15期、17期、18期、30期、31期、34期、39期		
□クラブOB会		
陸上競技部OB会報告	稲葉丈人 (75)	26
□トピックス		
稲垣先生の卒寿をお祝いする会	青田雄弘 (50)	27
フリン先生を偲ぶ会 六甲学院別館開催第6回	藤井則雄 (29)	27
伯友会ジュニア連続2回開催!	山本浩之・藤枝 誠 (50)	27
大森一樹君のこと	南浮泰造 (27)	28
43期・仁木啓介氏からのお礼とお願い	仁木啓介 (43)	30
□OB講演会		
混沌の世界の中で～Critical Thinking (吟味思考) のすすめ～	山脇岳志 (39)	31
医師として、外交官として、海外で働く～六甲中学・高校で学んでよかったこと もっと勉強しておけばよかったこと～	後藤浩也 (46)	32
□書籍紹介		
『神さまの宝もの』(申命記・中)	大頭眞一 (36)	33
『焚き火を囲んで聴くキリスト教入門』	大頭眞一 (36)	33
『手紙からみた明治の群像ー子規の叔父 加藤拓川と日露戦争の時代ー』	近藤 健 (32)	33
『スタジオが燃えている』	山口明彦 (33)	33
□編集後記		34
□会員の皆様へ		35

言 頭 卷

静かな勇氣

六甲伯友会会長

31期 藤本 久俊

伯友会の皆さん。元気でお過ごしですか。

今年は、コロナもひと段落し、4年ぶりに完全リアルでの総会、懇親会を学校で開催することができました。担当いただいた55期の諸兄、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

総会では、役員が改選され、近藤（32）、三千（36）、山本（42）の3人は副会長を退任されましたが、会長は、私がもう1期続けさせていただくこととなりました。浜田（33）、樋口（39）、松下（42・新任）、岡本（46・新任）、藤本（関東・41）の5名の副会長ともども、一生懸命務めますので、よろしくお願いいたします。

ところで、皆さん。山本宣治（「山宣」の愛称で親しまれています）という戦前の政治家をご存じですか。

彼は、宇治にある花やしき浮舟園という料理旅館の2代目若主人で、京都大学、同志社大学に勤務する生物学者でしたが、大阪や京都の貧民地区で産児調節運動に関わる中、貧困の撲滅を目指して国会議員となった方です。

彼の政治活動で特筆すべきは、治安維持法の改正に反対したこと。治安維持法は、戦前（1925年）に制定された、国体に反する思想を抱けば、それだけで犯罪となるとする法律ですが、1928年、その刑に死刑が加えられるという改正案が検討されました。

しかし、改正案が提出されたとき、これに反対する代議士は、山宣を除いてほぼ皆無でした。

治安維持法は、第2次大戦が終結した1945年10月、稀代の悪法として廃止されていますから、歴史的に見れば、山宣の意見が正しかったことは明らかです。しかし、ほとんどの人が違う考えを述べる中、一人正論を述べるのは大変なことです。彼の勇氣には心から感動を覚えます。

六甲は、戦前、自由主義に過ぎると軍部から目をつけられました。それが戦後になると、一転して、スパルタだ、軍国主義的だと逆の批判を受けるようになりました。しかし、武宮元校長を筆頭とする先生方は、自分たちはちっとも変わっていない、変わったのは周りであると毅然とした姿勢を貫かれたとお聞きしています。

まじめに生きること、流されずに生きるとはしんどいことです。でもそれが必要なときもあります。山宣は、その生き方を実践しました。

私は、六甲の卒業生ですが、司法研修所の卒業生でもあります。この11月、その同窓会が宇治の花やしきで開かれます。そんなところから山宣のことを思い出し、紹介させていただいた次第です。

山宣は、花やしきではきれいな花に囲まれ、家族や友人、学生と穏やかな時間を過ごしました。いつも固いことを考え、実践するだけでは長続きしません。山宣のよいところは、「生硬な木は折れやすい」と、柳のようなしなやかさで活動が続けたことにあると思います。

しんどい世の中ですが、オンとオフを上手に切り替え、精神の安定を保ちながら、まっすぐに生きてまいりましょう。



特別企画 六甲学院現役生インタビュー

～第63回六甲学院文化祭「GLANZ」 82期三役のみなさんに聴きました～

日 時：2023年 8月26日（土）

参加者：

委員長 高2B 藤橋弘毅君（写真左から2番目）
卓球部所属、趣味は野球・野球観戦（阪神ファン）
副委員長 高2A 建部直柔君（写真右から2番目）
テニス部所属、趣味は野球・野球観戦（阪神ファン）
副委員長 高2B 月城瑛貴君（写真一番左）
陸上部所属、趣味は音楽鑑賞
書記 高2D 佐藤勇介君（写真一番右）
卓球部所属、趣味はサッカー（ヴィッセル神戸ファン）
山岸先生（40期）
六甲伯友会広報委員会 藤枝（建設会社設計担当勤務）



— 文化祭ではどんなことに取り組んでいますか。

藤橋 まず、今までにないことをやる、二つ目は今後も受け継がれていくようなことを積極的にやっていきたいと思っています。僕たちでグッズを作ることになりました。

月城 個人的に掲げてる目標は、いろんな人の意見を取り入れて、みんながより楽しめる文化祭を作ることです。

— いいね。マンフォーアザーズだったっけ。僕が生徒の時はなかったんですよ。あれいつからなんですかね。

建部 石崎先生もそれ言ってた。

山岸先生 小さき人のためにとかね、そういうのは昔から言ってる。

建部 最近「Man」が抜けて「For Others」になっているんですよ。「Man」をつけたら男女差別だって言って。

— 「For Others」が最新なんですね。

建部 下の4学年の見本になるような、今後の指標にして同じように引き継がれていくような文化祭になればいいかなと思っています。

佐藤 とにかく成功させるために準備に一番力を入れています。

藤橋 まずはグッズの準備に頑張っています。今までは母の会がやってたんですけど、母の会が無くなったので。

— 無くなったのはショックだったよ。

藤橋 データとか何にも無い中で、どこに委託するかとか、どうやってやるかって僕たちが一から考えてきました。グッズって多分みんな売りたいと思うんで、そのノウハウができて良かったなとは思ってます。あと、去年と違うことと言えばモキツがあります。

— あ、模擬店・喫茶店でモキツやね。

藤橋 コロナでなかったんですけど今年復活しました。

— あー懐かしいな、やってたわ。

藤橋 モギパートっていうのがあるんですけど、そこにめちゃくちゃ力入れて頑張ってますね。

建部 お好み焼きやハンバーガーです。

— 売り上げやネーミングを考えることは小さいビジネスみたいな感じがしています。私の仕事でいえば図面書いて、デザイン決めて、指示書を渡して、職人さんに働いてもらう。人に動いてもらうっていうことはすごく難しいと思うんですけど、それをもう高校生で経験するのはいいですね。月城君がおっしゃったように、色んな人の意見を聞いて、それを実現できるようにするってすごく大事なことです。自分がやりたいことよりも他者に喜んでもらう方が上回っていく仕事をしないといけない。これは六甲の精神にすごく通じるのが嬉しいなと思っています。

— 「GLANZ」のデザインすごいですね。誰が作ったんですか。

建部 自称デザイナー・美術部長の萱村君です。

— ちょっとその子の将来追っかけたいなあ。すごいセンスあると思う。ドイツ語で輝き・栄光という意味だと思うんだけどどうやって決めましたか。

建部 これは学年で募集して、投票の中から選ばれたものです。

藤橋 そのテーマ自体を文化祭だけで表現するのは難しいんですけど、僕が願ってるのは、企画パートが文化祭を企画するってことです。

建部 個々の企画があって、企画パートがそれを統括しています。

— うん、なるほどなるほど。

藤橋 文化祭では個々の企画のクオリティが高くないとお客様は満足できないと思うんですよ。努力をしていいものを作ろうと思ったら一人ひとりが輝かないと出来ないと思っています。その、誰かが欠けることなく輝いて頑張ってるっていうのが大事なと思ったので、このテーマになってます。

— いや、もう、みんなキラキラしててまさにGLANZだなと思います。僕らももっと輝かないといけない、今日は逆にパワーを頂いてるんです。GLANZっていうテーマがあって、萱村君の素晴らしいデザインがあって、ロゴが入ったグッズがあるわけですね。

学校内の看板を全部GLANZにして、ポスターとかを萱村君に作ってもらったら、全体の雰囲気はずっと上がるんじゃないかなっていう気がします。

建部 今年、大道具パートの人数を2倍に増やして、成果が現在で去年の大体2倍ぐらいに増えていて、ここからまた増えていけば、去年の2倍は余裕で達成できるんじゃないかと。

— あー、大道具ね。

藤橋 顔ハメパネルを作ろうみたいな意見も出てる。

建部 インスタ映えスポットみたいな。アート作品を展示することを今年からやることにしています。安全面とか色々苦悩したんですけど、アトリウムでトルコの地方で伝わるアンブレラスカイです。来年以降はどうかわかりませんが、ノウハウはあるので講堂の装飾ができるんじゃないかと。

— それは買うんですか。アンブレラスカイを。

建部 自主制作です。岩田先生とか、傘屋さんに手伝ってもらいながら、傘だけ買って、傘を吊り下げるなど色々試しました。ま、見ていただければ一番わかりやすい。

月城 僕が関わったのは、文化祭の開催時間で帰る時間を早くしないといけないっていうので開始時間を早められないかって交渉して今の形になりました。

— 楽しみだね。当日すごいいいと思う。けどそれまでは大変やと思いますけどね。朝礼台の辺りで、ステージみたいなのあるんですね。ああいうのが面白かったけどね。

藤橋 今年も面白い企画がありますよ。

建部 やっぱ男子校ならではの女装コンテストもあります。

— そういのね。女装か。女子にステージ上がってもらうのとかないの？ モテ男に頼んで呼んでもらってさ。

絶対いるで女子。

建部 いるのはわかってるんですよ。だけどそれをスカウティングする能力のあるやつがどこにいないかって。

— そうい子にちょっと手伝ってもらってさ。誰かいるかな、モテる子は。

藤橋 ツムラがめちゃくちゃモテる。

建部 英語で喋れば、モテます。

— そういののが1番盛り上がるんじゃない。

建部 注目ポイントだったら。まず今年の5店舗と例年よりちょっと多いかなっていう店舗を出すんですよ。食堂の出してるご飯に負けないようにっていうのが目標。

— ハードル上げるなあ。

建部 モキツが3店舗と売店。過去の売り上げが最大の2000をずっと超えてないんです。今年は2000を目標に味の研究を夏休みは1日かけてずっとやっています。

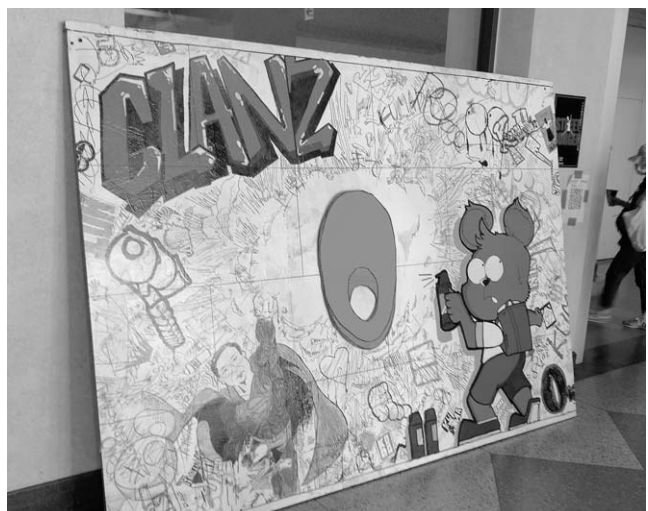
— 2000個。すごいいね。売り上げすごいいんちゃう。

建部 原価率ギリギリを攻めてるんで、2000個売りたい。例年は1店舗あたり大体平均で1800ぐらい。

1店舗あたりが2000個売るくらい頑張ってる。味には自信があるそうです。



萱村君がデザインしたGLANZロゴ



萱村君による迫力あるGLANZカウントダウンアート



ステージイベント「Ms.六甲」は男子校に華を添え、大盛り上がり

— 凄いね。

建部 あと広報です。デザインは全部萱村君がやってくれてます。5000人の集客が目標。Instagram、X(旧Twitter)にこれまで以上に力を入れています。各塾とかにも広告を持っていきますのでパンフレットの仕組みを変えたりとかしています。

— 広報パートは萱村君が、リーダーなんかな。

建部 彼はデザイナーです。

— ホームページは、作ってないんだっけ。

建部 作ってます。X(旧Twitter)は3つぐらい。

藤橋 偽物がいるんです。

月城 チラシやポスターを塾に貼ってもらったり、学校説明会に来てる小学生、保護者向けに、チラシを一緒に入れてもらい配っています。

— 六甲学院がさ、ずっといい学校として存続するためには、小学生に向けたPRっていうか、こんな学校ですよっていう目線があったらなお良いかなと思うんだけど。

藤橋 それを対外的に積極的に言うことはないんですけど、六甲がどういう学校なんかっていうのを分かってほしいので、今年3回行った海外研修の展示をやったり、六甲生や六甲の先生が授業するっていう企画はあります。

— あー、いいな。

建部 はい、僕らが授業します。

— あ、そうなん。現役生が授業するの。

藤橋 あ、はい。先生もします。

山岸先生 生徒が中心なんだけど、教員も何人か。

— そういうのやっているとかが知れば、OBももっと来てくれるんじゃないかなあー、もっと盛り上がるんじゃないかな。OBの人を集客できれば、豊かになるんじゃないかなって気はするんですけどね、僕もOB向けでPRさせていただいて来ていただけるようにします。

小学生目線、受験目線。親御さんに響く企画とか、OBに響く企画で、あとは近くの女子とかに響くとか、チラシさ

え持っとけばさ、親和女子とかさ、松蔭とか南女とかかな。そういうのをこうきかけにさ。

建部 OB関連だったら、新校舎になったじゃないですか。一応子供向けではあるんですけど、スクールツアーを開催しようと思っています。ツアーに参加するのも面白いんじゃないかなってのは思います。

— 便番をもう1回するとか。一般の方も体験できる中間体操、めっちゃ面白いよ。女子とかと一緒に走る。

佐藤 書記の仕事としては、引き継ぎ書があって、名札を作ってみたらどうでしょうみたいなことが書いていて、役員はみんな名札をつけることにしています。

建部 役員のな。

佐藤 パートの名前を書いて、その下に大きく名前を書く。シャツとかも、9種類あるんで、何パートやっていうのはわかるかなと。

— それでは、体育祭の話があれば聞かせて欲しいです。

藤橋 今年は、上裸ですね。81期の先輩がやってたんですけど、抗議とかもあって。

建部 署名運動まで起こりました。

藤橋 そのぐらい、やっぱりもう、今も上裸に対する熱っていうのは冷めてないです。やっぱり上裸の方が統一感とかもあっていいかなって思ったりしていました。

建部 上裸をやるかやらないかみたいなのを投票したんですよ、で結局、どちらでもよいが結構多かったんですけど、上裸が結構半分ぐらいを占めてて、脱ぎたくないって子は、下の世代の子でコロナで上裸にならなかった子が多くて、それ以外のやっぱり脱ぎたいって思ってる子が一通り居たっていうのが嬉しかったなってのはあります。結局、上裸にならなかった子は100人を切ったんじゃないかな。

月城 部活とかでいつもお世話になってる一個上の先輩が一番一緒にいる時間が長くて、作る最後の思い出みたいな感じで、いい思い出になったなって。高3が主体で、高2も一緒に役員をします。

建部 僕らは来年が主体です。

— 総行進は音楽が一緒なんですよ、当時と。それが、すごいなあと。

月城 あー、昔から。

— 先生の時も一緒ですよ。あれ、ずっと一緒なんです。これすごいことだと思うんですよ。

山岸先生 えー、思い出します。

— 思い出すんですよ。フラッシュバックするんですよ。当時の記憶が。自分が歩いてる目線の記憶が蘇るんですよ。脳の奥のそこから、ぱって出てくるんですよ。で涙が出てくる。それは音楽やと思いますよね。多分、音楽が思い出させるんですよ、記憶をね。で、先頭の子とかがやっぱり責任大変じゃないですか。間違ったりするからね。どのぐらいの期間練習するんですかね、体育祭。

藤橋 2週間です。

— 2週間でやるんですか。

建部 演技の役員とかはもうちょっと前から練習してるんですよ。先頭とかも。ただ、一般生徒を巻き込んで2週間しかやらない。

月城 で、実際雨になったらその日は練習できないんで。

— 1か月ぐらいやってたような記憶あるんですが。

山岸先生 私もうちょっと長かったですね。

試験終わってからやからね、2週間ぐらいしかしない。

— やっぱり1時間半ぐらいぶっ通しで練習ですよ。で、休憩。

建部 ええ、やかんに薄いスポーツドリンクの粉を入れて、朝礼台の上からやかんを持つ人がいて口開けて飲む。並んで。

— 僕らは休憩言われたらね、水道めがけて、うわーって、もう喉からからやから、もうみんなぐわー飲んで。そんなのは無いの。

藤橋 今はその水道よりやかんの所に並んでいます。

建部 20人ぐらい並んでるんですよ。

— 水道は飲んだらあかんの。

建部 多分水道が混雑しまくって怪我が起きたからかなんかだと思うんですよ。

藤橋 多分高学年とかは水道にっています。

— 今度は六甲について、どうってるかなとかね、僕らの時は、六甲精神という言葉があった。六甲精神ってまだありますか。

藤橋 あります。

— 六甲って掘みにくいっていうか、僕らでも言語化しにくいです。17歳の皆さんは、武宮校長の話とかいろんな話を聞いておられたりすると思うんですけど、どう捉えてるのかなと。

藤橋 僕は六甲精神が好きで、今はすぐに甘やかすというのがあると思っていて、今年の夏の甲子園も色々言われているんですけど、根性論みたいなのが世の中でなくなってきてる、昭和的なものが。だからこそ、根性論っていうのを大事にした方が、人として成長できる、他の人よりも頑張れるっていうのはあるんじゃないかなとは思いますが。

— なるほど。それを既に気づいてるのはすごいなと思うんです。僕の解釈ですけども、教育方針として理不尽なことをわざとさせてたんじゃないかなって、僕は想像してるんです。なぜかって言うと、世の中に出て、理不尽なことばかりなんです。実は。そのストレス耐性が必要で。仕事をする上で、何か仕事を成し遂げようと思うと、いろんなことをやらないとそこにたどり着けないんですよ。理不尽なことをやるストレス耐性を、あえてやらせてるんじゃないか、教育方針としては。僕はそう解釈してて、根性論は僕も好きのところですよ。

月城 体育祭の時に、行進前に雄叫びをあげて、みんな一



モキツの「STREET BURGER」は長蛇の列

緒に体育祭を作る、みたいな高揚感を感じます。

建部 ちょっと前調べたら男子校って2.5パーセントしかないんですよ、全国で。その2.5パーセントの特殊な環境の、かつ、かなり特殊な学校なので。何をやってもいいっていう自由度の高さ。

— 逆に。

建部 学校で決められた規則を守れば、逆に言ったら、制定されてない方は全てなんでも破っていいみたいな。

— 頼もしいね。

建部 例えば職員室以外であれば上裸になってもいいってのは確か校則で言われてるんですよ。女子がいないからっていうのもあるだろうけど。決められてないことは何してもいいっていう、そこが結構僕は好きなところですよ。

— なるほど、逆やね。六甲って厳しいって思ってたけど、逆に捉えて、自由だと。決められてないことは自由にできると。

建部 楽しい学校です。

佐藤 楽しいで言うと、先生と生徒の繋がりがあって。体育祭とかも上からずっと見てくれていたりする。

体育祭の本番当日とかは赤組勝とうぜと言ってくれたりとか、授業も面白いですし。職員室とかもカウンターがあるんで、他校の職員室とは違って交流も深まるので、帰ってきた時に恩師の先生に会って懐かしいなっていうのになるのかなっていうのはあります。

— ええ、久しぶりに母校に来て優しく迎えてくれて、僕らもすごく助かってます。

次は将来について、高校2年生の夏ですよ、自分の道っていうのはどこかで決めないといけないと思いますけども、皆さんどう思ってるのかなって。

藤橋 情報系に行こうかなと思ってて。博士課程までは行きたい。その後は、どこかで研究とか出来たらいいなと思ってて。



モキツの「ふかふかお好み巻きふっちゃん」



STREET BURGERを手分けして調理する現役生

— 情報系も色々あると思うんですけど、どういうことをしたいんですかね。

藤橋 人気のAIをしたい。

— AIでどういうことをしたいんですかね。

藤橋 特化型AIではなく汎用型AI。将棋は特化型AIで出来るんだけどオセロは特化型AIで出来ないんです。

— あ、そうなんだ。

藤橋 だから、AIはまだ人間っていう感じのAIじゃないんで、人間みたいになんでもできるっていうAIを作りたいなって思ってます。汎用型AIはどこも今できてなくて。

— 人間って本当にすごく柔軟じゃないですか。そういうのが可能になればすごいなと思います。

人に動いてもらう時って、ロボットだとインプットしたら必ずアウトプットしてくれるじゃないですか。人って色々な感情があってなかなか動いてくれなかったりするじゃない。そこが一番ね、人を動かすっていうのとはちょっと違うところなんかなという。人間みたいな柔軟な頭脳を持つAIができればいいですよ。是非日本を飛び出してほしいですけどね。イエール大学助教授の成田悠輔さんとか、世界を羽ばたいている。弟さんも優秀で。頑張ってくださいね。月城君、将来についてはどうですか。

月城 僕はバリバリ文系で、物を売りたいなって、会社に勤めるかなんかして、チームのみんなと一緒に協力して、達成感を上げるっていうのが、何となく抱いてる将来の自分像みたいな感じで、何の企業に就職したいとかは決まってないんですけど、でも大学は経済学部、経済に興味があって、経済学部に行って、経済について学びたいなと思っています。

— 日本の経済を引っ張ってほしいです。

建部 学部はまだ決まってないんですけど、人を育てる側の人間になりたいなと思ってて、自分は中学生ぐらいや六甲へ来るまでちょっとおかしいと先生からも心配されてた

ような人間で。人を育てるってことは、人間を作るってことだから、その人が自分のおかげで作られるような、教員とか、海外に行って、現地での社会奉仕に関わってとかわからないですけど、人を育てる仕事に就きたいなと思ってます。

— 素晴らしいですね。

佐藤 夏休みに、オープンキャンパスで、授業をいくつか受けた時に、ひとついいなと思ったのは、地球の外の惑星とか、はやぶさ2号で取ってきた試料を分析して、こういうことがあったみたいなことを専門用語で先生は解説してくれて、初心者の自分にもわかりやすかったんで、そこに行きたいなって、その時思いました。

— いいですね、宇宙がどんどん近くなっていくと思うんですけどね、僕は2020年から2030年っていうのは凄まじい進化をするんじゃないかなって思っている方なんですけど、とはいえ、なかなか変わらなかったりはするんですけどね、でももうその兆しが、ちょっとずつ見えてきてて、宇宙もね、日常的に行けたりとかする世の中になるかもしれないです。

そういう世界に行って、宇宙産業発展に頑張ってもらえたら、嬉しいなと思いますね。そういう夢を現実に、自分の道っていうのを作っていってほしいなと、本当に思います。人それぞれDNAから全部違うんで、最適なね、お父さんお母さんとかからいただいたDNAを一番発揮する道っていうのは、その人その人それぞれで、一本じゃないかもわからないですよ、何本があるかもわからないですけど、最適な道って必ずあると思うんですよ。そこを歩いていけるか。歩いていけば、多分一番幸せっていうか、一番力を発揮できる世界に行けるんじゃないかなと思うんですよ。それを客観的に、自分の能力を見極めるって言うんですか、それって、すごく難しいんじゃないかとも思います。

— 六甲伯友会のOBに対して、こんなことしてもらえませんかとか、ありますか。OBの方々は今の六甲にすごく興味持ってます。今の六甲教育はどうなってるんだ、みたいなね。おじいさんでも優秀なおじいさんですから。80歳超えていても雄弁で、教育について一言申し上げてよろしいですか、みたいな、こういう人もいらっしゃるんですけども。

建部 わりと色んなところに六甲生いますよね。

— そうやね。

建部 神大のサイエンスキャンパスのプログラムに行った時に、教授の人が、お前六甲生かって、六甲を高校の時に中退した人らしくて。そんな人とひょっと出会ったりとかしたんで、割と身近な所に六甲生居るなと。

— いますよ、世の中出ても。すぐ距離近くなるんです。共通体験がいっぱいあるんで。すぐ仲良くなれたりする。OBと現役生の交流の場とかね、なんか持てないのかな。伯友会の上の人らに話をしようと思うんですけど。

建部 やって欲しいかもしれないです。

— OBが現役生に与えることっていうのは、例えば、藤橋君が情報系行きたいと、その場で活躍されてる人は絶対いるんですよ、OBで探せば。その人と連絡が取り合えるとか、そういうメリットは絶対あるんですよ。そのメリットのポテンシャルがあるチャンスが活かされてないっていうか、絶対メリットはもっとあるはずなんですよ。

藤橋 例えば伯友会の、今でも進路の日みたいなのがあって、OBの人が来たりするじゃないですか。それだけじゃなくて、例えば、なんか常に将来で迷ったことがあったら、このメールアドレスに連絡してくれたら、その道の人とか紹介するよ、みたいな。

— それはいいかも知れない。自分が行きたい道の大先輩に話聞けるとか、連絡を取り合えるとか、こんなことをやっ



第2グラウンドで行われたステージの様子

てるとか、紹介をしてもらうとか。

建部 六甲進路ダイヤルみたいな。

— おー、ちょっと企画しようか、進路ダイヤル。

建部 カスタマーセンターみたいなところにメールを飛ばしたら、専門の人からメールが返ってくるみたいな。

— 近しいとこで言ったら、僕がやると思う、多分。それもらって、OBの人らに聞いてみます。伯友会っているんな人がいて、大体顔が広い人が多いんで、OBでこういう人いませんか？言ったら、あ、いるよみたいな、そういうのがあったりするんです。だから、そういうところで、相互の関係を築けたらなっていう気はするんですけどね。僕らも現役生に、こうやって、話を聞けるっていうのは嬉しいことなんで、そういう交流ができたらと、提案してみます。六甲進路ダイヤル。

建部 いいですね。

— 最後質問とかありますか。

藤橋 六甲が色々発信してるじゃないですか。便番や中間体操が無くなったとか。それに対してOBはどう思っているのかを聞きたいです。

— あのね、ちょっとショックなんですよね。まずね、3年前ぐらいですね、高橋校長に今は便番はやってないんですよと言われた時に、もう正直ショックでした。六甲が六甲で無くなるのかなという。でも、また復活したらいいよって聞こえてきて、嬉しかった。上着着ても、便番が復活したんだというのは、嬉しいし、上着がない方が僕らも嬉しいんだけど。LGBTとか、そういう問題もあるだろうし、その子からすると、嫌なんでストレスたまると思うんです。だから、配慮してあげたらいいと思うんですけど、ただ伝統がなくなるっていうのは、上裸がなくなるっていうことだけでも寂しさはあるんです。でも、それ自体が無くなるのはもっともっと寂しい。それやったら、上裸がなくても、上着着てもやってほしいっていうのはある。

建部 ちょっと愚痴みたいになっちゃうんですけど。便番の上裸を廃止したのと一緒に、裸足も廃止した意味がわからないです。

藤橋 裸足と短パンが無くなった。

建部 裸足と短パンはLGBTに関係ない。今、掃除は長柄なんですよ。

藤橋 手を突っ込まずに。

— 何年前ぐらいに、裸足とか無くなったの。

藤橋 コロナの時に便番が一回無くなって、また復活する時に、時代の流れとかも考えて、上裸と裸足でなくなったって感じです。

— 裸足もなくなっちゃった。コロナウイルスがあるから。

建部 コロナってただの風邪ですから、今。

— ま、今はね、そういうことの研究を目指す子もいたらなって、僕らは思うけどね、ウイルスとかの研究とか遺伝子とか生物学的な。裸足がなくなったんだね。

月城 素手での便番はやってるうちに楽しくなる。

— あったな、楽しくなってくるの。それはあるよ。あるある。

藤橋 素手じゃ無いと六甲じゃないみたい。

建部 違和感を感じる、長柄じゃ距離が違うっていう。

— なるほどね。素晴らしい。六甲精神が受け継がれてるなっていうのを感じました。ありがとうございます。

キラキラした高校2年生の彼らはまさにGLANZでした。そして骨の髄まで六甲精神が染みわたっていました。先日文化祭に足を運び、彼らの作る輝きに満ちた文化祭を直に感じました。みなさまも体育祭・文化祭に是非ご参加頂き、現役生と交流しましょう。インタビューはもう少し他の話もあるので、ノーカット版はホームページにて掲載させていただきます。後日UPIになりますがホームページもご覧下さい。

<https://www.hakuyu.jp/>



(広報委員会 藤枝)



アトリウムを彩るアンブレラスカイ



4年ぶりに復活したNY研修の展示

役員・委員会

2024年 伯友会懇親会 実行委員決定!!

久し振りに制限をなくす懇親会。

自分たちを育ててくれた六甲が、今後より魅力ある学校に発展していくためにはどうすればよいか。思い出を語り合うとともに、未来についても思いを馳せる場にしたいと思います。



中学一年入学時

▶56期 代表

▶小松原 崇史 [こまつばら たかふみ]

- ▶農業土木のコンサルタントを経て、現在日能研のグループ会社を経営しています。
- ▶在学時は野球部キャプテン、中間体操委員長や体育祭副委員長として主に体を使っていました！

開催 2024.4.14(日)

会場 神戸ポートピアホテル

時間や詳細は追って別途お知らせします。
是非ご予約を開けて、お楽しみにお待ちください



▶企画 [3名]

▶寺川 貴也 [てらかわ たかや]

- ▶データやAI、オンラインセキュリティなどを扱うコンサル会社の経営者やっています。
- ▶在学時は、野球部、出版委員長、演劇部



▶桑田 隆行 [くわた たかゆき]

- ▶元々大阪の消防で働いていましたが、友人の誘いで東京のベンチャー勤務しています！
- ▶在学時は、サッカー部キャプテン、体育祭委員長をしていました！



▶北野 晃裕 [きたの あきひろ]

- ▶コピーライターをしています。東京からの参加ですが、よろしくお願いします。
- ▶在学時は、中高バス部キャプテン、体育祭書記

▶会計

▶椋野 宏保 [むくの ひろやす]

- ▶57期のつなぎ役として頑張ります！会社員です！
- ▶在学時は、野球部でした。



▶会場

▶甲斐 健盛 [かい けんじょう]

- ▶神戸で寺院住職をしています。
- ▶在学時は、テニス部(高一まで)でした。

▶広報

▶大崎 広貴 [おおさき ひろき]

- ▶旅行業、ホテル業の後、現在は広告を担当していない広告代理店勤務です。
- ▶在学時は、サッカー部でした。



▶関東

▶松尾 浩順 [まつお ひろむね]

- ▶東京の上智大学のすぐ近くで弁護士やっています。
- ▶在学時、競歩会で優勝したのが自慢です。
- ▶関東担当なので、関東伯友会も盛り上げたいと思います！

会 務 報 告

2023年度六甲伯友会総会報告

2023年度六甲伯友会総会を2023年4月23日（日）午後1時より、六甲学院 合併教室にて開催致しました。なお、同時にWEB配信も行いました。

清水総務副委員長の司会のもと、藤本会長の挨拶の後、濱田副会長を議長に選出し、下記の議案について審議しました。

- 第1号議案 2022年度事業報告の件
- 第2号議案 2022年度収支決算報告の件
- 第3号議案 役員改選の件
- 第4号議案 2023年度事業計画案の件
- 第5号議案 2023年度収支予算案の件

審議の結果、すべての議案とも承認されました。以下、その内容をご報告いたします。

第1号議案 2022年度事業報告

●2022年度末総会員数および終身会員数

	総会員数	終身会費納入者数			年会費 納入者数
			抹消者数	終身会員数	
2022 年度末	11,506人	7,245人	494人	6,751人	59人
		新規 189人			延べ 63人
2021 年度末	11,399人	7,056人	457人	6,599人	81人
		新規 193人			延べ 101人
増減	107人	189人	37人	152人	△22人
		新規 △4人			延べ △38人

●総務委員会

- ①定時総会 2022年4月23日（土）
於：神戸ポートピアホテル

②会議運営・資料作成・議事録作成

- 幹事会 年4回開催 2022年4/9(土) 7/9(土) 10/22(土)
2023年1/21(土)
- 常任幹事会年4回開催 2022年6/25(土) 10/1(土) 12/2(金)
2023年3/25(土)

上記日程にて幹事会、常任幹事会を開催（会場とオンラインの併用）

③会費の徴収

- 終身会費納入者 189人（前年比4人減）昨年193人
- 年会費納入者 63人（前年比38人減）昨年101人

④本会計・伯友基金・伯友奨学基金・伯友チャレンジ基金の管理

伯友基金として、東ティモールのイエズス会校支援
伯友奨学基金として、年間授業料の2名分相当額を支出

●事業委員会

①学校事業への協力

- ・伯友文庫の充実
- ・体育祭：運営スタッフの活動支援（2022年6月4日）
- ・OB企業訪問（高1）
8月3日 神戸（アイクラフト、川崎重工業）
8月4日 大阪（パナソニック、北浜法律事務所、関西電力）
8月23日 東京（東大法学部、国土交通省、DIP）
- ・OB課外講義：2022年10月3日 49期 五百旗頭薫氏
全校生を対象に実施
- ・強歩会：成績優秀者へのメダル授与（2022年11月）
- ・卒業式：卒業生への記念マグカップ授与
（2023年3月4日）

②対外事業

- ・四校対抗サッカー大会：2022年10月16日
於：六甲学院
- ・イエズス会校同窓会連絡協議会（JJHAF）
（2022年12月17日）
東京会場とオンラインのハイブリッド方式で実施
- ・栄光学園同窓会関西支部設立交流会に出席
（2022年11月）

③伯友奨学基金運営

- ・基金のPR

④東ティモールへの支援

- ・募金の呼びかけ

⑤伯友会の歴史を記録する活動

●広報委員会

①会誌「伯友」80号（春号）、「伯友」81号（秋号）発刊

②ホームページ、メールの維持管理

- ・ウェブサーバー（アマゾンウェブサービス）、ドメイン（hakuyu.jp）ネームサーバ、メールサーバ（Google）、SSLサーバの管理、更新
- ・ホームページ随時更新
- ・ツイッター随時配信
- ・YouTubeチャンネルの運用

③「伯友会活動のあらまし」80期生に配布

●会員委員会

①総会懇親会実施

2022年4月23日（土） 神戸ポートピアホテルで開催
（WEB配信も）
会場参加131名、WEB参加39名

②支部支援

・関東支部

・関東支部懇親会

2022年7月2日

ホテルグランドヒル市ヶ谷で開催

参加89名

・関東令和塾開催

8月23日 33名

11月28日 22名

・栄光学園OBフォーラムに参加(2022年7月9日)

・四校同窓会懇親会参加(2022年11月)

・四校同窓会関東支部忘年会に参加(2022年12月28日)

・中部支部懇親会は中止

③各期同窓会支援

2つの期について郵送費を補助

④伯友会ジュニア(50歳以下の会員対象)開催

2022年10月27日(木) 9名参加

⑤80期の情報収集

⑥会員名簿の発行作業

●情報管理委員会

①事務局IT機器の管理

②常任幹事会・幹事会のリモート参加の実施

③Zoomアカウントの貸し出し

第2号議案 2022年度収支決算報告

●本会計

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:円)

(単位:円)

	決算額	予算額	差異
収入の部			
①会費収入	8,694,000	7,950,000	744,000
・年会費	189,000	300,000	△ 111,000
・終身会費当期納入額(189人)※1	8,505,000	7,650,000	855,000
②入会金	40,000	0	40,000
・新入会員入会金(5人)	40,000	0	40,000
③雑収入	181,709	2,000	179,709
・預金利息	46	500	△ 454
・雑収入	112,000	1,500	110,500
・寄付収入	69,663	0	69,663
・預り金	0	0	0
④名簿・広報誌制作協力費(広告収入等)	123,500	185,000	△ 61,500
・名簿広告収入	0	0	0
・名簿販売収入	3,500	35,000	△ 31,500
・広報誌広告収入	120,000	150,000	△ 30,000
⑤繰越金からの特別繰入金	0	285,000	△ 285,000
当期収入合計	9,039,209	8,422,000	617,209

※1 終身会費当期納入者:
新卒生等 167人、61～79期 2人、51～60期 5人、
41～50期 5人、31～40期 7人、21～30期 1人、
1～20期 2人

	決算額	予算額	差異
支出の部			
①一般管理費	2,549,743	3,266,000	△ 716,257
・通信費	296,962	400,000	△ 103,038
・事務局員報酬	1,581,130	2,000,000	△ 418,870
・事務備品費	373,162	500,000	△ 126,838
・事務局警備費	105,600	106,000	△ 400
・慶弔費	14,309	30,000	△ 15,691
・交通費	100,700	150,000	△ 49,300
・プロバイダー使用料	77,880	80,000	△ 2,120
②事業費	3,736,039	4,356,000	△ 619,961
・総務委員会	71,936	300,000	△ 228,064
・会議費	71,936	300,000	△ 228,064
・事業委員会	105,566	240,000	△ 134,434
・学校事業協力費	49,200	120,000	△ 70,800
・記念品制作費	56,366	0	56,366
・対外事業費	0	100,000	△ 100,000
・伯友会の歴史を残す活動	0	20,000	△ 20,000
・広報委員会	2,304,492	2,305,000	△ 508
・広報誌作成費	905,773	850,000	55,773
・広報誌発送費	1,063,501	1,100,000	△ 36,499
・インターネット維持費	292,428	300,000	△ 7,572
・伯友会活動のあらし制作費	42,790	55,000	△ 12,210
・会員委員会	1,254,045	1,441,000	△ 186,955
・調査費	0	10,000	△ 10,000
・名簿作成費	187,000	200,000	△ 13,000
・名簿発送費	1,560	21,000	△ 19,440
・会員交流事業費	489,315	500,000	△ 10,685
・同期会援助費	37,170	80,000	△ 42,830
・支部援助費	350,000	380,000	△ 30,000
・懇親会参加促進費	189,000	200,000	△ 11,000
・伯友会ジュニア促進費	0	50,000	△ 50,000
・情報管理委員会	0	70,000	△ 70,000
・システム保守費	0	70,000	△ 70,000
③予備費	0	800,000	△ 800,000
・予備費	0	800,000	△ 800,000
当期支出合計	6,285,782	8,422,000	△ 2,136,218
④繰越金	2,753,427	0	2,753,427

財産目録

2023年 3月31日現在

(単位：円)

	当年度	前年度	増減
合計	55,129,710	52,376,283	2,753,427
・現金	75,538	155,849	
・郵便局(会費納入受入口座)	25,565,397	24,753,946	
・普通預金／六甲伯友会 (会費納入受入口座)	7,872,000	7,770,000	
・普通預金／決済用普通預金	20,564,883	18,794,883	
・普通預金／伯友会3	1,051,892	901,605	

伯友基金口座在高

2023年 3月31日現在

(単位：円)

	金額
普通預金 三井住友／六甲	2,203,497
前年度繰越金	2,203,477
寄付収入	100,010
預金利息	10
六甲学院へ支払い	100,000

東ティモール聖イグナチオ学院援助

伯友奨学基金口座在高

2023年 3月31日現在

(単位：円)

	金額
普通預金 三井住友／六甲	6,681,813
前年度繰越金	6,661,954
寄付収入	538,230
預金利息	29
六甲学院へ支払い	518,400

伯友チャレンジ基金口座在高

2023年 3月31日現在

(単位：円)

	金額
普通預金 三井住友／六甲	1,000,028
前年度繰越金	1,000,020
寄付収入	0
預金利息	8
支払い	0

第3号議案 役員改選

2023年度六甲伯友会役員

* 今年度から新任

職務名	職務分掌	名前									
会 長		藤本 久俊	31								
副 会 長	会長補佐、会務代行、各委員会担当	濱田 有司	33	樋口 隆之	39	藤本 欣伸	41	松下 治正*	42	岡本 剣*	46
常 任 幹 事		宇都宮 光	20	安東 寛泰	27	藤井 則雄*	29	北野 友之	31	近藤 健	32
		井上 洋一	33	大加戸 彰彦	34	林 豊	34	三千 敏弘	36	東郷 直樹*	37
		山岸 禎一*	40	山本 裕計	43	渡辺 喜弘	44	乾 隆志*	47	森本 謙	49
		青田 雄弘	50	川原 弘行*	50	東田 展明	50	藤枝 誠	50	藤原 唯人	50
		石井 宏武	54	日野 哲志	55	小松原 崇史*	56	西村 紘一	58	木村 修大	59
		鬼塚 丈徳*	60	増田 哲也	61	荒木 建人	66	柴原 誠	74		
名 誉 顧 問		栗本 昭夫		外川 直見	14	曾根 忠明	7	清水 弘		濱崎 宗一	
		松浦 明生	26	古泉 肇	30	高橋 純雄*					
顧 問		雀部 昌吾	5	長森 健	8	田嶋 紀雄	15	五百旗頭 真	19	石光 一郎	24
監 査 役		相澤 紘一	16	湯川 昌明*	23						

2023年度六甲伯友会委員会

* 今年度から新任

委員会名	職務分掌	委員長	副委員長	担当副会長
総務委員会	現金管理、資料保管、会計、会議運営、資料作成、総会議事、基金管理、他	森本 謙 49	岩永 昌寛 53	木村 修大 59
事業委員会	学校協力事業・対外的事業、四校同窓会連絡会、基金の募集・活用、他	青田 雄弘* 50	吉田 之範 46	寺川 智章 53
			西村 紘一 58	小松原 崇史 56
			覺道 佳優 62	世良田 一輝 61
広報委員会	会報発行、ホームページ管理、メール管理、他	藤枝 誠* 50	森下 秀明 42	中村 崇明 50
会員委員会	名簿管理、名簿作成、会員情報の収集、会員親睦事業、同期会・同好会・クラブOB会・支部援助、他	渡辺 喜弘 44	川原 弘行 50	山本 浩之 50
情報管理委員会	会員情報システムの改善・維持・管理	藤原 唯人 50	荒木 建人 66	

●役員改選について

本年度は役員改選期にあたるため、役員の改選を行います。新役員の任期は2023年度から2025年度の3年間となります。

下記に改選案を提示します。また、改選後の役員一覧表は別紙のとおりです。

なお、委員会の構成については総会議決事項ではありませんが、あわせて報告させていただきます。

(役員改選案)

(副会長)

新任	松下 治正	42	退任	近藤 健	32
	岡本 剣	46		三千 敏弘	36
				山本 裕計	43

(常任幹事)

新任	藤井 則雄	29	退任	浅沼 清之	13
	近藤 健	32*		船井 孝祐	18
	三千 敏弘	36*		湯川 昌明	23*
	東郷 直樹	37		横山 幹夫	24
	山岸 禎一	40		竹内 信介	25
	山本 裕計	43*		濱田 誠剛	27
	乾 隆志	47		豊田 巖	28
	川原 弘行	50		松下 治正	42*
	小松原崇史	56		岡本 剣	46*
	鬼塚 丈徳	60		清水 彰	58
				高端 恭輔	60

*は副会長退任・就任、監査役就任にともなうもの

(監査役)

新任	湯川 昌明	23	退任	中西 敏雄	12
----	-------	----	----	-------	----

第4号議案 2023年度事業計画

●総務委員会

①定時総会 2023年4月23日(日)

於：六甲学院 合併教室

②会議運営・資料作成・議事録作成

幹事会 年4回開催 2023年4/8(土) 7/8(土) 10/14(土)
2024年1/20(土)

常任幹事会年4回開催 2023年6/24(土) 9/30(土) 12/1(金)
2024年3/23(土)

上記日程にて幹事会、常任幹事会を開催予定。

③会費の徴収

④本会計・伯友基金・伯友奨学基金・伯友チャレンジ基金の管理

●財政検討特別委員会(必要に応じて開催)

①財政状況のモニタリング

②収支バランスの継続的検討

●事業委員会

①学校事業への協力

- ・OB企業訪問調整
 - ・OB課外講義調整
 - ・体育祭：運営スタッフの活動支援
 - ・強歩会：成績優秀者へのメダル・トロフィー授与
 - ・卒業式：卒業生への記念マグカップ授与
 - ・伯友文庫の充実
 - ・学校とのコミュニケーション
- 2023年度より、校長と定期開催予定(年2回)

②対外事業

- ・イエズス会校同窓会連絡協議会
- ・四校対抗サッカー大会
- ・WUJA日本支部立ち上げ検討

③伯友奨学基金運営

- ・基金のPR

④東ティモールへの支援

- ・募金の呼びかけ

⑤伯友会の歴史を記録する活動

●広報委員会

①会誌伯友82号(春号)、83号(秋号)発刊予定。

②ホームページ、メールの維持管理

Webサーバ、ドメイン、メールサーバ、SSLの維持管理、更新

ツイッター配信

③「同窓会活動のあらまし」発行、81期生に配布(200部)

④クラシファイド広告

⑤YouTube動画公開

●会員委員会

①総会懇親会実施支援

②支部活動支援

③各期同窓会支援

④伯友会ジュニア活動支援

⑤81期の情報収集

⑥会員名簿発行に向けての準備作業

●情報管理委員会

①Zoomアカウントの貸出、管理

②幹事会等のインターネット会議のための環境整備

③今後の会議のあり方の検討

第5号議案 2023年度収支予算

●本会計

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

(単位：円)

	予算額 (A)	2022年度		増減 (A) - (B)
		決算額	予算額(B)	
収入の部				
①会費収入	7,950,000	8,694,000	7,950,000	0
・年会費	300,000	189,000	300,000	0
・終身会費当期納入額	7,650,000	8,505,000	7,650,000	0
②入会金	0	40,000	0	0
・新会員入会金	0	40,000	0	0
③雑収入	2,000	181,709	2,000	0
・預金利息	500	46	500	0
・雑収入	1,500	112,000	1,500	0
・寄付収入	0	69,663	0	0
・預り金	0	0	0	0
④名簿・広報誌制作協力費(広告収入等)	185,000	123,500	185,000	0
・名簿広告収入	0	0	0	0
・名簿販売収入	35,000	3,500	35,000	0
・広報誌広告収入	150,000	120,000	150,000	0
⑤繰越金からの特別繰入金	865,000	0	285,000	580,000
当期収入合計	9,002,000	9,039,209	8,422,000	580,000

	予算額 (A)	2022年度		増減 (A) - (B)
		決算額	予算額(B)	
支出の部				
①一般管理費	3,166,000	2,549,743	3,266,000	△ 100,000
・通信費	400,000	296,962	400,000	0
・事務局員報酬	1,800,000	1,581,130	2,000,000	△ 200,000
・事務備品費	500,000	373,162	500,000	0
・事務局警備費	106,000	105,600	106,000	0
・慶弔費	30,000	14,309	30,000	0
・交通費	250,000	100,700	150,000	100,000
・プロバイダー使用料	80,000	77,880	80,000	0
②事業費	5,336,000	3,736,039	4,356,000	980,000
・総務委員会	300,000	71,936	300,000	0
会議費	300,000	71,936	300,000	0
・事業委員会	1,040,000	105,566	240,000	800,000
学校事業協力費	120,000	49,200	120,000	0
記念品制作費	800,000	56,366	0	800,000
対外事業費	40,000	0	100,000	△ 60,000
伯友会の歴史を残す活動	50,000	0	20,000	30,000
伯友文庫費	30,000	-	-	30,000
・広報委員会	2,685,000	2,304,492	2,305,000	380,000
広報誌作成費	950,000	905,773	850,000	100,000
広報誌発送費	1,080,000	1,063,501	1,100,000	△ 20,000
インターネット維持費	600,000	292,428	300,000	300,000
伯友会活動のあらし制作費	55,000	42,790	55,000	0
・会員委員会	1,241,000	1,254,045	1,441,000	△ 200,000
調査費	10,000	0	10,000	0
名簿作成費	200,000	187,000	200,000	0
名簿発送費	21,000	1,560	21,000	0
会員交流事業費	500,000	489,315	500,000	0
同期会援助費	80,000	37,170	80,000	0
支部援助費	380,000	350,000	380,000	0
懇親会参加促進費	0	189,000	200,000	△ 200,000
伯友会ジュニア促進費	50,000	0	50,000	0
・情報管理委員会	70,000	0	70,000	0
システム保守費	70,000	0	70,000	0
③予備費	500,000	0	800,000	△ 300,000
予備費	500,000	0	800,000	△ 300,000
当期支出合計	9,002,000	6,285,782	8,422,000	580,000
④繰越金	0	2,753,427	0	0

株式会社 マヤテック

〒650-0024 神戸市中央区海岸通5 商船三井ビル

取締役会長 五代友和 (15期)

TEL (078) 391-3721, FAX (078) 391-3927



宮野医療器株式会社

〒650-8677 神戸市中央区楠町5丁目4番8号

相談役 宮野 淳 (19期)

TEL (078) 371-2121, FAX (078) 371-2300, E-mail: a.miyano@miyano.co.jp
URL: <https://www.miyano.co.jp/>

六甲伯友会総会・懇親会

六甲伯友会総会・懇親会

伯友会総会・懇親会

2023年度六甲伯友会総会・懇親会のご報告 【4/23（日）開催】

日程：2023年4月23日（日）

会場：六甲学院

スケジュール：[平成塾] 11:00～12:00 5階合併教室
[総会] 13:00～14:00 5階合併教室
[懇親会] 14:00～16:00 講堂

*すべて参加費無料

*総会のみ現地開催・Web配信両方行い、平成塾・懇親会は現地開催のみとしました。

*兵庫県感染拡大予防ガイドラインに従って感染症対策に配慮して開催しました。

55期幹事グループ

戸田（代表）、西、日野、横山、高橋、福田、小倉、舩谷、稲村、守上



2023年度 伯友会総会・懇親会幹事ご挨拶

本年は55期が幹事を務めさせていただきました。

2023年4月23日（日）に六甲学院にて実施させていただきました。

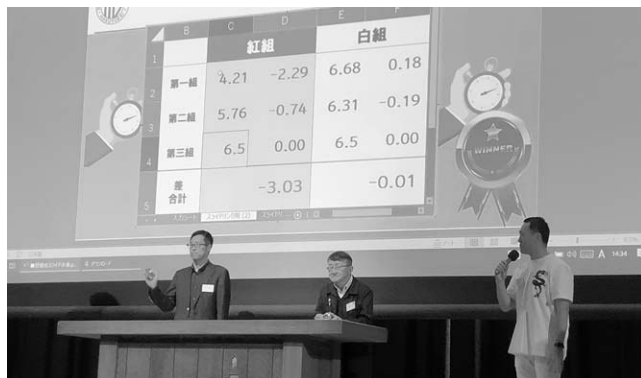
総会・懇親会は、六甲卒業生が一同に介する貴重な機会です。久しぶりに同級生と再会し、お互いの近況やこれまでの人生について語り合ったり、また世代を超えて卒業生の方々との交流を深め、新たな刺激を得ていただけたことと思います。

本年は5年ぶりに母校での開催となり、新校舎合併教室で平成塾、総会を行うと共に、懇親会では場所を講堂にうつして、皆様に楽しい時間を過ごしていただくため、体育祭をテーマに、来場者と一体感と共に交流いただける催しを企画しました。

55期幹事一同、心を込めて準備をしてきました。伯友会総会・懇親会にご参加いただき、素晴らしい思い出を共有していただけたら幸いです。

お忙しい中ご参加いただき、心より感謝申し上げます。

幹事代表 55期 戸田武志



みな かわ

南川和茂法律事務所

〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目1番15号 西天満内藤ビル4階
弁護士 南川和茂（23期）

TEL (06) 6365-0400, FAX (06) 6365-0455
E-mail: kaminakawa@nifty.com



三輝工業株式会社

〒555-0043 大阪市西淀川区大野1丁目5-12
濱田誠剛（27期）

本社・工場 TEL (06) 6475-5156(代), FAX (06) 6475-5406

関東支部

関東支部

2023年度 六甲伯友会 関東支部懇親会 開催されました

■関東懇親会概要

2023年 7月 1日 (土)

会 場：上智学院

①令和塾：13：00～14：00 12号館102教室

講師 金田 賢哉 氏 (62期)

本郷飛行機株式会社 代表取締役

『ウワサのドローン最前線』

②懇親会：14：30～16：30 11号館ラウンジ

食事、アルコール提供あり

会 費：5,000円(ただし、70期以下2,000円、学生無料)



■参加者

懇親会 83名

【来賓】

上智学院 1名 栄光学園 2名 広島学院 1名

六甲中学高等学校 高橋校長

【伯友会員 (敬称略)】

13期 三池 / 18期 吉川 / 20期 辻

23期 大谷 西林 森 柳瀬 山南 山内

25期 辻 / 27期 赤松 / 28期 岩崎 菅田

29期 藤井 / 30期 木下 塩村 寺井 房

31期 宗近 早瀬 / 33期 木村

35期 加門 津吉 / 39期 秋山 樋口

40期 広橋 / 41期 藤本 / 42期 藤原

43期 井上 浮田 志立 山本

44期 北島 藤田 山神 渡辺

49期 五百旗頭 金田 平池

50期 川原 白川 善野 / 51期 岡 島田 田崎

53期 柿原 田口 / 54期 鈴木

55期 戸田 小倉 迫 奥田 横山 羽野 長田

竹内 豊 末松 水口 森田 宮沢 大内

福田 尾崎

56期 松尾 / 57期 武田 / 58期 石原

61期 萩本 / 62期 金田 山口

66期 丹山 / 71期 伊藤 高崎

76期 鈴木 / 79期 折中 長田 中本 山本

本年は上智学院キャンパス内のカフェテリアをお借りして実施をいたしました。

今年からは「ディスタンスなし」のコロナ禍以前のスタイルで実施させていただき、ご参加いただいたみなさんも楽しく懇親を深めていただくことができたと思います。

まず最初はできるかぎり年代がバラバラになるように受付時にお席を指定し、テーブルごとにチーム名を考えていただく、という時間をつくりコミュニケーションのきっかけを設けたのですが、各テーブルごとに大いに盛り上がり世代を超えた六甲のつながりを感じました。

また、六甲中学・高等学校より高橋校長、上智学院様よりサリ理事長も駆けつけていただき、六甲や上智学院の現状、これからのビジョンなどをご共有いただきました。終始にぎやかな会となり幹事一同ほっと一安心をしております。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

また、今年の実施にあたっては上智学院上智学院総務局中等教育事務室土持室長、伊藤様両名に施設の使用等で手

高橋金属 株式会社

代表取締役 高橋伸治 (28期)

(親不知の会 No.1)

頑張ろう六甲 OB

渡部賢一 (28期)

(親不知の会 No.2)

山本香料 株式会社

代表取締役社長 山本芳邦 (体操部・28期)

(親不知の会 No.3)

株式会社 カーニバル

代表取締役社長 平田昌義 (28期)

(親不知の会 No.5)

厚いご支援をいただきました。

姉妹校4校をつなぐ活動を積極的に実施されており、我々のネットワークを大切にしていただけるととても感謝しております。

この場をお借りして御礼申し上げます。

(55期 幹事代表 西伸介)

関東支部

「令和塾」2022年度第3回イベント 「伯友会 関東支部 大学生向けキャリア相談会」 が開催されました

2023年2月11日(土) 14:00より上智大学にて、伯友会関東支部イベント「令和塾」2022年度第2回勉強会「伯友会 関東支部 大学生向けキャリア相談会」を開催しました。
【メインスピーカー】ワンキャリア取締役

北野唯我さん(六甲卒・63期)

●セッションタイトル●

「就活、そして、就職の前に考えほしいこと」

●イベント詳細●

現役学生のみならず20～50代までの参加者20数名がアイズ会同窓として、栄光学園、広島学院、上智福岡の卒業生として集まり、同窓だからこそ、日頃聞けないような内容の濃いものとなりました。

中にはわざわざ遠路福岡から日帰りで来られたN氏(29歳)は2023年春から東京・順天堂大学病院での研修医生活が始まるため、メディカル関連の知り合いを求めに参加されました。東京には栄光・六甲・広島・上智福岡のOBのドクターが多数おられ、早速4校OBとの連絡を取り付け、来た甲斐があったものと思われま。

(50期 川原弘行)

関東支部

「令和塾」2022年度第2回勉強会 「歴史から見た日中／日台関係」が 開催されました

2022年11月28日(月) 18:30よりオンラインにて、伯友会関東支部勉強会「令和塾」2022年度第2回勉強会「歴史から見た日中／日台関係」を開催しました。

【講師】慶應義塾大学法学部 井上正也教授

●イベント詳細●

前回のウクライナ問題に続く、現在の世界情勢の勉強会として、日本・中国・台湾の関係にフォーカスしました。

五百旗頭薫(49期)をモデレータとして、井上正也教授が登壇しました。ご本人は六甲卒業ではありませんが、五百旗頭真(19期)の指導を受けた、日中関係史の第一線の研究者です。

1970年代の日本・米国と中国との国交回復を通じて、中国と台湾の微妙な関係をめぐる国際的合意が形成され、現在にいたる東アジア秩序の根幹になっています。その経緯と内容についての明快な説明の後、これが今日、どう揺らいでいるかを解説して下さいました。

参加者との間で、歴史と現状の両面について、活発な質疑応答が行われました。

(49期 五百旗頭薫)

シンガポール支部

シンガポール支部

懇親会報告

2022年10月25日(火)、10月末に日本に帰国される山田さんの壮行会を開催しました。

生憎、ご出張や一時帰国中の方が多く、参加者は、山田(70期)、奥田(50期)、岩崎(53期)、吉田(58期)の計4名での会になりましたが、いつも通り大変盛り上がりしました。

70期とズバ抜けて若い山田さんからは、いつも活力をもらい、また世代を超えて六甲時代の話で盛り上げられることに喜びを感じました。

若いメンバーがいなくなるのは人一倍寂しく、これはシンガポール伯友会一同、同じ気持ちです。

山田さんの益々のご活躍を祈念しております。再会を願って乾杯、bon voyage!

当地の伯友会は、新メンバーを絶賛募集中ですので、ご本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、是非、幹事までご連絡下さい。

幹事 吉田(58期)

連絡先 y.yasu3@gmail.com



株式会社 ハヤシホレイ

〒661-0021 尼崎市名神町2丁目10-15

代表取締役 林 敬一(31期)

TEL(06)6429-7661

シンガポール支部

シンガポール支部 活動報告

2023年3月9日(木)、昨年10月以来、久々にシンガポール支部の懇親会を行い、奥田(50期)／青木(51)／佐伯(56)／山本(57)／吉田(58)／奥谷(59)の6名が集まりました。

この4月に奥田さん、青木さん、森山さん(65)3名の日本への帰国が決まっており、今回は壮行会も兼ねて、皆で大いに盛り上がりました。

メンバーが減ってしまうのは寂しい限りですが、皆様の益々のご活躍を祈念しております!!

当地の伯友会は、新メンバーを絶賛募集中ですので、ご本人、若しくは、お知り合いがシンガポールにおられる方は、是非、幹事までご連絡下さい。

幹事 吉田(58期)

連絡先 y.yasu3@gmail.com



シンガポール支部

プチ懇親会報告

2023年8月14日(月)、コロナ禍の令和2年の夏に、シンガポール、日本、そしてアメリカをつないで実施されたシンガポール伯友会のインタビュー。あれから、2年の月日が流れ、アメリカからインタビューに参加していた小職が、ついに念願叶い現地を訪問し、約束したタイガービールを飲みながらの会食が実現しました! 2年前のインタビューに参加していただいた後輩たちは、ほとんど帰国していたものの、唯一残っていた吉田さん(58期)に歓迎してもらいました。そして、ディアス先生との印象的なエピソードを語ってくれた同期の善野は、なんと大学院の交換留学生としてシンガポールに滞在中。日本から遥か遠く約5,000キロ離れた赤道直下の街で、母校六甲について、色

んな思い出が語られた楽しい一夜になりました。

(50期 中村崇明)



ロサンゼルス支部

ロサンゼルス支部

ロサンゼルス懇親会の報告

開催日: 2023年10月7日(土)

場所: Sea Empress Seafood Restaurant (ロサンゼルス郊外ガーデナ市)

参加者: 左から(敬称略) 42期 森下秀明 76期 安田航一朗 60期 高端恭輔 43期 小幡成雄 29期 岡田健一 15期 藤野秀樹 41期 牧野明久 35期 陳敏生

高端さんと安田さんが、日本から来られたので、歓迎会を兼ねて、懇親会を行いました。今回は特別に小幡さんも出張の合間に参加されました。コロナ終了後の初の対面懇親会となりました。

カリフォルニアにはアメリカ生活が長い、経験豊かな卒業生がたくさんいます。留学、駐在、旅行等でアメリカに来られる際は、是非お知らせください。歓迎会をさせていただきます。

連絡先: morishita@mmsystems.com 森下



弁護士法人 アーネスト法律事務所

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通7-1-13
神戸芸術センター 2803号

弁護士 藤本久俊 (31期)

TEL (078) 265-0810 FAX (078) 977-8065

井尻整形外科

JR 垂水駅北、レバンテ垂水1番館2階

院長 井尻慎一郎 (32期)

TEL (078) 704-5055, FAX (078) 704-5066, URL: <http://ijiri.jp>



メディア

TV放送

■有名私立受験ナビ サンテレビにて放送

<https://www.youtube.com/watch?v=ScX2ARVXroY>



■青春100K 兵庫・六甲学院 「汗と涙の総行進」

初回放送日：2023年8月12日 23時30分～0時00分
NHK総合にて放送

<https://www.nhk.jp/p/ts/RJ5G2XZ4N3/episode/te/5MGNQ8292G/>



https://youtu.be/GpH6TbL65PE?si=LqkH-T_rtwdN2qUY



六甲学院の伝統「総行進」が女優上白石萌音さん語りによりTV放映されました。

決して忘れることのない青春のひとときを見つめる青春応援

ドキュメント。今回は兵庫県・六甲学院中学・高等学校の体育祭伝統「総行進」。10代が本気で挑む汗と涙の日々！決して忘れることのない瞬間を見つめる青春応援ドキュメント「青春100K」。今回は兵庫県・六甲学院中学・高等学校の体育祭伝統「総行進」に密着！▽大迫力！総勢1000人の大行進▽6列交差に図形・幾何学模様…行進が描く美しさに注目！▽足並みをどう揃える？中1から高3までをまとめる実行役員たちの試行錯誤の日々▽変えるべきか？守るべきか？伝統と改革のはざま▽10代が本気で挑む汗と涙の日々▽語り：上白石萌音



■サンテレビにて放送 ラグビー部出演

【テレビ出演】2023年4月5日（水）ラグビー部

<https://www.youtube.com/watch?v=KKdTmTQ0CXw>



4月5日（水）サンテレビ“キャッチ+”に、六甲学院ラグビー部が出演しました！

中学部員も高校部員も登場。心優しき六甲ラグーマンたち

の姿が放映されました。

■42期・中田顕史郎氏がフジテレビの生放送ドラマに出演

42期・中田顕史郎氏がフジテレビの生放送ドラマに出演しましたので、お知らせします。

みなさま、こんばんは。中田です。

2022年12月27日、フジの生放送ドラマに出演いたします。

50を超えて、役者人生も後半にさしかかる中、これが最後のチームかもと思って、この4年、もっとも出演をし、ドラマターグを担当したりしている劇団アガリスクエンターテインメント。

それとまた自分の古くからのご縁のある鈴木保奈美さんがクロスする中田的には本当に夢のマッチングが叶った、演劇×テレビドラマな企画です。

FODにて見逃し配信しています。是非ご覧ください！

番組公式 予告編

<https://twitter.com/namadrama.../status/1606228214975586304>

番組公式メイキング

番組公式サイト

<https://www.fujitv.co.jp/namadrama/>



第一夜 2022年12月27日（火） 24：25～25：25

第二夜 2023年1月3日（火） 24：40～25：40

新聞

■上毛新聞「シネマの力」で映画監督の黒沢清氏（31期）が紹介されました

慶応大付属研究所の小田浩之氏による上毛新聞の連載記事「シネマの力」に映画監督の黒沢清氏（31期）が紹介されました。

黒沢監督は東京芸大大学院映像研究科の教授も務めておられ、本年度で退任予定です。

教育者の視点で2回にわたって教育論を語っており、その下編記事となります。

<2022/9/28付 上毛新聞「シネマの力」④教育者・黒沢清 下>

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/180913>



【参考】

<2022/8/23付 上毛新聞「シネマの力」③教育者・黒沢清 上>

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/164355>



同 期 会 だ よ り



各期の同期会の報告をお待ちしております。その際、なるべく楽しい写真を添えていただければ幸いです。開催日及び場所を記載していただく以外は、特に字数制限はありません。また「伯友」は春と秋号2回発行しておりますが、「同期会だより」は秋号のみ掲載します。場合によっては開催日と掲載が1年以上隔たる場合も生じますが、ご了承ください。

「伯友」誌には、学年・開催日・場所・参加者・写真のみの掲載となります。ホームページの伯友会オフィシャルサイトには寄せられた報告の全文を随時掲載いたしております。

● 13 期 ●

◆2023年 六甲伯友会 13期 関東地区 懇親会



開催日 2023年5月19日(金) 13:30~15:00

場 所 有楽町 東天紅・国際フォーラム店

会 費 7,000円

参加者 余田夫妻、中村夫妻、藤田、山崎、山下、三池、森田 9名(敬称略、順不同)

懇親会の概要

- この3年間に亡くなった仲間への献杯で開始
 岩城泰夫(2021.6.10) 今岡恒夫(2021.8.5)
 畑和成(2021.11.27) 稲富武二(2022.3.31)
 濱田 宏(2022.7.24) 千原五郎(2022.10.4)
 奥山成治(2022.11.23) 田淵丈雄(2023.2.6)
- 余儀なく欠席された新城英夫君からの、時節にあった情報の紹介。

牧野富太郎のパトロンになった京大生

4月2日からNHKで始まった朝の連ドラ『らんまん』に関する話題。

今回は植物学の牧野富太郎に関する物語です。その中のポイントとなるエピソードに関する話です。

研究のために膨大な借金を抱えてしまった牧野は、いよいよ生活が立ち行かなくなり、貴重な研究資料や植物標本の売却を決意します(大正5年)。

これを新聞で知り、支援を名乗り出た人物が、神戸の大富豪の息子、池長孟(いけなが はじめ)でした。そのとき池長はまだ京都大学の学生でした。しかし、「貴重なコレクションが海外に流出してはならない」と、3万円(現在の金額で数億円)で全点購入を申し出たのです。

以上の文章は『NHK趣味の園芸』3月号の記事から小生が要約したものです。

牧野のパトロンとなった池長孟は、こうして神戸の熊内町にある自宅敷地内に、後になって作る『池長南蛮美術館』の中に、牧野の集めた貴重な資料や標本を整理し保管したのです。因みに、小生は今回初めて知りましたが、多くの人が、教科書などで一度は目にしたことがある、『フランシスコ・ザビエルの肖像画』も、この池長南蛮美術館のコレクションの一つだそうです。

この池長孟の息子さんが、我々より一級上の池長潤先輩です。確か体操部だったと思いますが…。神父になった方です。小学校時代はむろん、六中生になってからも、広岡豹平・山本尚平・小倉忠・三好純一等の諸君と、広い池長邸に入り込んで、そんなことも知らずに、よく遊んだものでした。(新城)

- 参加者から、それぞれ、近況報告あり。

近年、逝く仲間が多い。

健康に留意し、来年も、会合を開きたいものとの意見も多くあり。

(世話人) 三池、森田

(文責) 森田

● 15 期 ●

◆卒業65周年記念クラス会(15会)



六甲高校卒業 65周年記念15会 2023年5月16日 ホテルオークラ神戸

開催日 2023年5月16日(火)

場 所 神戸ホテルオークラ星雲の間

参加者 28名

15期生(134名)は15会(いちごかい)と称して毎年東

京、神戸で個々に集まりを続けている。全体クラス会は歴代幹事の献身的な世話で、卒業40周年、50周年、60周年と実施してきた。

全員83歳、84歳と高齢化が進むと個人差が大きくなり体調不良者も増え、全体のクラス会を何時までも続けることが出来ないで締めくくりのクラス会として「卒業65周年記念クラス会」開催を決定し、5月16日（火）に神戸ホテルオークラ星雲の間で実施した。

出席メンバー28名（米国から一時帰国で参加した者、最後だからと病気を押して頑張って参加した者、奥さんの介護で参加した者もあり）、同伴夫人、物故者夫人併せて11名、合計39名の賑やかなクラス会となった。

会は、最初に物故者53名に黙祷を捧げ、献杯をし、そして乾杯をして宴会に入った。全員が「病気の話は抜き」と言う事で近況を披露し互いの無事の再会を喜び合った。最後のクラス会として対面で励まし合うことが出来一つの区切りとすることが出来た。

今回欠席連絡のあった29名の人にも近況を出稿してもらい、出席者分も含め62名から近況が寄せられたのでそれらを文集にして投稿者全員に「紙上クラス会」として配布した。欠席者も含め相互の状況が分かり「参加した気分になった」と病気で頑張っている欠席者の励みにもなっている。

15期生は仲間意識が強く15会の費用は、梅地画伯の絵画と、メンバーの寄付による勤務先の製品のオークションで費用を積み重ね、お先にと逝った仲間の葬儀に献花してきたが、今回クラス会の東京など遠方の参加者の補助、夫人参加者の補助で出納を締め、残額は少しになったが伯友会を通して六甲生の為に役立ててもらおうと思っている。

安嶋君が15期生の為にHPを開いてくれており、日常的にそこを介して情報交換をしている。今後は東京、神戸の15会を続けながら、何時まで続くかお互いを思いやり、励まし合いながら残りの人生を有意義に過ごすことになる。

（15期 田嶋記）

● 17 期 ●

◆17期生同期会



開催日 2023年3月28日（火）11：30～

場 所 第一楼

参加者 11名

例年よりかなり早い桜開花の候、今年初めての同期会を開催しました。

昨年末の集まりで、春、暑気払い、年末、年3回の開催と決まりました。

ただ、今後、参加者の人数次第で変更もあり得るでしょう。

今回の参加者は11人で以前よりかなり減ってきました。

やはり、80歳超での体力の衰えによるものでしょう。

参加出来たものは幸いと言えます。

話題の中心は、健康、特に認知症云々で前向きな話がないのはやむを得ないことかも知れません。

それでも食欲は旺盛で完食でした。ただし、お酒の量はだいぶ減りました。

最後に瀬尾君のウクレレ伴奏で賛美歌を歌い、亡くなった同期生を追悼しました。

（福田記）

● 18 期 ●

◆18期会報告

「カタツムリが長い旅をして、
ナメクジになって帰ってきた。」



開催日 2023年7月5日（水）

場 所 御影公会堂

参加者 20名

4年振りに18期同窓会を開催しました。齢も80歳を迎え多数がいわゆる「80歳の壁」をさまざまな形で実感する時期になりました。互いの生きざまを確認し、励まし合う機会を持ち、対面の重要さ、尊さを改めて確認する暖かい雰囲気になることができました。

筆者は昔中国北京での生活のなかで、「以心伝心」は、日本語であり中国には同様の意味する言葉が無く、強いて探せば中国では「以心換心」というものがあると友人に教えて貰ったことがありましたが、今回の会ほど、六甲で育った友人相互の「心」でもって「心」を理解しあえることを痛感し、中国でいう「相手の心を変える」といった中華思想とは相容れないものであることを実感した次第であります。

卒業して60年余りの中で、それぞれが学び、達成、実践して来た大きな果実が、今正にお互いを思いやる美しきものに熟成した感をもちました。冒頭にあげた「カタツムリが旅をしてナメクジになって帰って来た」者の会話の美酒に酔った気分でありました。

今回の参集者は遠方の東京から2人、中部美濃から1人を含め20人でした。仏界の大僧正（緋の衣）から、俗界で未だ実業に携わっている仲間たち、虚業界からは、徘徊ならぬ俳諧で実力を上げ表彰を受けた（角川の大歳時記／春の部に作品掲載）という文化人、相変わらずの酒豪、杖が手離せないが口だけは達者な強者、血液透析の合間をぬって出席してくれた仲間と多士済々でした。話題もスコープ広く、墓の相談から相続税低減方策等年齢相応で盛り上がりましたが、宴会も2時間半に及びまだまだ語りつくせないながら来年の再会を約束して散会となりました。

（船井記）

● 30 期 ●

◆ 「30期生卒業50周年記念同窓会」顛末記



朝六甲学院にて

開催日 2023年5月28日（日）

場 所 神戸市産業振興センター10Fホール

参加者 78名（ミサ・会食計）

「1日経ったが、みんなで合唱した『港神戸に雨が降る』が耳について離れない」（山崎談）

そもそも昨秋、コロナ禍の中で記念同窓会の開催時期の話をした時に、塩村が「はよやりたいな。もう会えない奴がおるかもしれん。エ工同窓会やりたいな」と漏らした。それが妙に頭に残り、「よし、それなら盛大にやってやる！」と一人心に思ったのが始まりだ。

関西の実行委員をかため、何度か東京とZOOM会議を開いた。岩佐と図って名簿を片っ端から確認し、生き残り160人中130人を超えるメールリストを作り、年明けとともに始動。塩村の提案で遠方から来るもののため「六甲学院見学」を古泉（元校長）に依頼。3月から呼びかけが始まった。北海道から九州、ニューヨーク、シンガポール、出欠の確認とパンフに載せる近況を集めていった。福井に依頼し、素晴らしいDVDもできた。松浦、尾崎神父（30期には2人も神父がいる！）に無理言って会場でミサをやってもらうことになった。90歳を超える山下先生、平井先生も喜んで招待に応じてくださった。圧巻は本田先生の歌う「港神戸に雨が降る」の動画だった。

5月28日（日）、奇しくもコロナ禍から久々に再開された神戸祭りと同じ日。午前、30余名が六甲学院を見学、古泉、金田によって新校舎内を案内され、久々の庭園、小聖堂に立ち寄り、懐かしの風に思い出を楽しんだ。その正午、78名が神戸駅南の会場に集合した。

まず松浦、尾崎神父の司式で逝去された先生方、同期13名のためのミサが行われる。ピアノ村田真澄、サキソフォン中田正一郎の伴奏で「六年の春秋」の歌とともに献花が行われる。「讃歌」で閉式、神父を囲んで写真の後、いよいよ開幕。司会高橋が緊張する。

30期会会長古泉の挨拶、山下、平井先生から言葉を頂き、塩村が相変わらぬ毒舌の後「乾杯」。広い会場もこれだけ入るとほぼ満杯。本当に50年ぶりの奴もいて、しかも変わり果てた頭、体形に高橋提案の胸の名札がなければ分からないほどの状態で、それでも話が弾む。会場のそこそこに数名の塊ができてはまた次の塊ができる。思い出話、現在の仕事、家族・・・人生の様々な体験の話をまるで昨日別れた友のように話し合う。

ここで福井が作ってくれたDVD「30期50周年の集い」が始まる。騒がしい場内が一変して静かになる。在校生の思い出、今は亡き先生方、友人とのさまざまな活動、卒業後の同窓会の場面の数々・・・「夢多き日のあこがれよ 希望果てなき心もて」（六年の春秋3）

またしばし後、本田先生がこの同窓会のために送ってくださった動画が始まる。高齢でかすれた声ながら、「港神戸に雨が降る」を歌われたものだ。30期の感動がピークに達する。

動画放映の後本田先生に贈り返そうと、寺井指揮のもと全員でこの歌を合唱する。みんな60代最後になっていると

有限会社
アークスコーベ
一級建築士事務所

32期

石丸信明

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-2-23 アークスビル
Tel 06-6136-1070 Fax 06-6136-1071
ishimaru@arxkobe.com https://arxkobe.com

社史・自分史等編集より承ります。

(株)学術出版印刷

〒554-0022 大阪市此花区春日出中2-14-9

代表取締役 近藤 健 (32期)

TEL (06) 6466-1588, FAX (06) 6463-2522, E-mail: kondou@mxt.mesh.ne.jp

いうのに「大声で、元気よく」（よく本田先生から言われたものだ）合唱する。涙ぐむものもある。

会場に展示されていた上沼先生のデッサンが、瞬く間に売れていく。1点に何人かが殺到すると清水が半ば恣意的にさばいていく。蔭山、太田から昔の仲間のことが報告される。

いよいよ締めくくりは「六甲学院校歌」、ピアノ・サクソフの豪華な伴奏で、みんな心をつなげて合唱する。「60周年記念でまた会おう！」の言葉で会はお開きとなった。

その後、みんなクラブや親しい友人たちと三々五々二次会に行き、中には夜中まで旧交を温めたものがいたという。翌29日は30期ゴルフ友の会（別名ゴルフクレイジー）のコンペが新しい仲間を入れて20数名で開かれ、楽しいひとときが続いたということだ。以下の写真は、園田、江良、市や県で各種受賞のプロが写してくれたものだ。

（文責 崎 正則）



ミサ後の集合写真



会ラストの集合写真

当日各行事参加者一覧 参加者

・六甲学院見学（32名）

井原、上垣恵、上田茂、宇治、江良、大垣、大木、太田、岡本、蔭山、金田、紀、木下和、小泉、小林義、小山、古泉、塩崎、塩村、清水、菅原、寺井、中田孝、橋本、

平野、福嶋、前川、山崎、山村、村田良、若山、渡邊憲・ミサ、同窓会（来賓2名 同期78名）

[来賓：山下健司先生、平井一嘉先生]

安倍、井原、池須、池田、岩佐、岩下、宇治、上垣正、上垣恵、上田茂、江良、越智、大垣、大木、太田、岡哲、岡本、蔭山、金田、神戸、木下和、紀、熊倉、黒田友、小泉、小林義、小山、高野、嵯峨山、崎、古泉（佐久間）、清水、塩崎、塩村、下田、島田、白井、菅原、鈴木盛、園田、高橋、玉田、千葉、出口、寺井、中井、中田正、中田孝、中野、中道、中山、橋川、橋本、秦、服部、平野、福嶋、福井、房、藤澤、前川、松浦、松岡、松本仁、水谷、村田真、村田良、森滋、森下、森近、山崎、山村、吉田昌、若山、渡邊憲、早瀬、

ミサのみ：尾崎、緒方

・ゴルフ（16名）

岩佐、宇治、太田、岡本、黒田友、嵯峨山、白井、千葉、出口、中山、平野、前川、村田真、渡邊憲、渡邊正、

● 31 期 ●

2016年10月発行の伯友No. 69掲載の同期会だよりにて、我々31期還暦同期会の報告をさせていただきました。その中でご紹介した同期会「31CLUB」は「Club31」と名を替え、またコロナ禍のために何度か中断したこともありましたが、その後も随時開催され続けております。

なお誰の発案なのか、開催日は期の数字に合わせて基本31日に開催と決めております。即ち1年間に7回の開催予定となりますが、12月31日だけは諸般の都合によりありません。

今ではゴルフ好きが集まって「ゴルフClub31」、山歩きを好む有志にて「伯母野山Club31」など、飲んでおしゃべりだけ以外の有志による会も発足し、時には奥様もゴルフに同行など、それぞれ順調に活動を広めております。

さてコロナ禍が落ち着いて来たタイミングなので、いよいよ六甲卒業50周年記念31期同期会の実行委員会が、関東在住メンバーを中心とした有志にて立ち上がりました。早速来年9月14日（土）開催に向けて始動したのを皆様にご報告がてら、しばらく途切れていた同期会「Club31」から5件分のご報告をします。



やまだ整形外科クリニック

〒651-0065 神戸市中央区割塚通7丁目2-1 コンフォート春日野2階

院長 山田 博（32期）

TEL (078) 262-6780, FAX (078) 262-6786

高 端 歯 科

〒657-0065 神戸市灘区宮山町3-3-29 六甲ヒルコート102号

高端泰伸（33期）

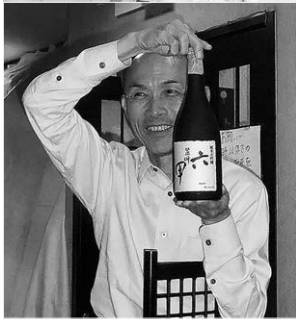
TEL (078) 871-6545

◆ 1. 開催日：2022年11月1日（火）

場 所 三宮「肝胆亭」

肝胆亭・オフィシャルサイト (kantan-tei.jp)

参加者 種田 大竹 苅田 古志 小見山 阪本 杉江
立石 筒井 林 藤本 山本博 板倉 13名



コロナ禍明けで久しぶり、
また会場を梅田から三宮に変更して初めての開催です。

藤本君が持つ

「純米大吟醸 麗峰 六甲」

という六甲OBに相応しい
名の美酒を、当日参加の古志
君から差し入れもあって大変
盛り上がり、最後は全員起立
で校歌斉唱となりました。

◆ 2. 開催日 2023年1月31日（火）

場 所 三宮「肝胆亭」

参加者 種田 小見山 阪本 杉江 立石 筒井 信川
長谷川 林 藤本 山本博 板倉 12名



4月23日開催の伯友会総会・懇親会出席の勧誘に幹事担当の55期生2名が参加。当日我々31期は11名の参加で、幹事の期の次に多い参加者数となりました。

◆ 3. 開催日 2023年3月31日（金）

コース 阪急岡本駅→保久良神社→金鳥山→本庄山→

風吹岩→荒地山→なかみ山→風吹岩→

万物相高座の滝→JR甲南山手駅→森温泉

参加者 伯母野山Club31（山歩きの会）

種田 大歳 北野 杉江 森本 5名



夕方からの飲み会に合流するのを楽しみに、お花見を兼ねて行程を計画しました。天気も最高。

◆ 4. 開催日 2023年3月31日（金）

場 所 三宮「肝胆亭」

参加者 種田 大竹 大歳 北野 古志 小見山 阪本
杉江 立石 長谷川 林 板倉 12名



山歩きの会も飲み会も合流。季節は春めいて、楽しい時間を過ごしました。

足立優歯科・神戸デンタルドックセンター

〒658-0072 神戸市東灘区岡本1-3-33

院長 足立 優 (36期)

TEL (078) 411-0024, FAX (078) 411-0056

URL: <https://www.adachi-dental.jp> E-mail: info@adachi-dental.jp

神戸駅前法律事務所

〒650-0027 神戸市中央区中町通2丁目2番17号 武田ビル5階

弁護士 佐藤功行 (41期)

TEL (078) 381-7612, FAX (078) 381-7591

E-mail: yoshixbb@gmail.com

◆ 5. 開催日 2023年5月31日(水)

場 所 三宮「肝胆亭」

参加者 種田 北野 古志 小見山 阪本 杉江
筒井 林 三宅 山本 10名



いつものように、あっという間の楽しい2時間を過ごしました。
(文責 板倉 徹)

● 34 期 ●

◆34期同期会

日 時 2022年12月17日(土) 15:00~

場 所 新大阪ワシントンホテル(現地+Zoom)

参加者(現地) 伊井、井関、大加戸、大畠、加藤賛、
鴨志田、斉藤、佐藤、佐々木、高田明、
鶴田、徳尾野、野田、野村(口野)、
長谷部、原田英、林(和田)、藤岡、
山村方、安光、■岩井先生 21名

参加者(Zoom) 上田、落合、城江、中川、松浦、
安田、和田隆、■飯塚先生 8名



日 時 2022年12月18日(日)

場 所 キングスロードゴルフクラブ

参加者(ゴルフ) 伊井、井関、大畠、鶴田 藤岡、
野田、原田英 7名



鶴田キャプテンを中心に2012年から定例の同期会を開催していますが、今回で10年目となりました。2020年は新型コロナの影響で開催を見送りましたが、2021年からはZoomで開催、今回は初めてリアル+Zoomのハイブリッドで開催しました。司会は前半を斉藤さんが、後半を佐々木さんが行いました。

まずは3月20日に逝去された江見丈さんの在りし日のご活躍を振り返り、改めてご冥福をお祈りしました。そして参加者の皆さんそれぞれの近況報告を行い、また在学時の「中間体操、便所掃除」の白黒のTVニュース、同期の村上さんが録画していた「私達の修学旅行の風景ビデオ(無声)」を見ながら昔話にも花が咲きました。

Zoom参加の飯塚先生からは「後期高齢者になり物忘れをするようになったが、君たちの六甲学院在学中の初々しい姿は忘れていない。」とお言葉をいただきました。また現地参加の岩井先生からは「前は、ラグビーのワールドカップの時(2019年)に参加した。皆さんとの懇親が楽しい思い出になっている。」とのお話をいただきました。

翌日(12月18日)はキングスロードゴルフクラブでコンペも行いました。寒風吹く中ではありましたが、天候は晴れ、楽しいラウンドとなりました。

今回残念ながら不参加のご連絡を頂いた方も多くおりましたが、次回は多くのご参加を期待しています。

(文責 林 豊)

 ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-10-1

代表取締役社長 中内 仁(42期)

TEL(078)302-1111, URL. <https://www.portopia.co.jp/>

 iCRAFT
アイクラフト株式会社

〒650-0034 神戸市中央区京町83番地
三宮センチュリービル13F
TEL(078)391-2900 <https://www.icraft.jp>

代表取締役

情シス アイクラフト

 山本 裕計(43期)

● 39 期 ●

◆第19回39期生同窓会報告



開催日 2023年1月2日(月)

(一次会) 16:00～(二次会) 19:00～

場 所 ホテルグランヴィア大阪

参加者 安部、池田、石本、植田、大西(宣)、奥見、川島、
菊池、岸本、北村、北山、香西、佐藤、田村、
高戸、瀧浦、中谷、鳴尾、樋口、古市、味村、森、
森下、山田(和)、山本(純)、横田 26名

本年1月、第19回39期生同窓会を3年ぶりに開催いたしました。

これまで2年毎の開催でしたが、卒業から40年目に当たる昨年は、コロナ禍もあって残念ながら延期せざるをえませんでした。今回、還暦の前に再会の場を是非、との思いで、自治体の対処方針や会場での感染予防対策等に留意しつつ、何とか開催することができました。

当日は、海外からの一時帰国者を含め26名の方々にご参集いただけました。ご欠席の方からの近況メッセージを紹介しつつ、ご参加者全員に近況をご報告いただきました。60歳を目前に、誰もがこれからの人生に興味津々です。3年ぶりの再会であることも相まって、一次会・二次会とも大いに盛り上がりました。無事、同期の拠り所となる場をご提供することができ、ホッとした次第です。

会場の手配、同期への連絡、伯友会からの資料提供等では、森君、横田君、樋口君のご助力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

次回はいいよ、還暦を迎えての開催となります。

今回は、コロナ対応で残念ながらご参加叶わぬ方々もおられましたが、コロナ禍が収まり、多くの方々が安心して再会できることを祈念いたします。

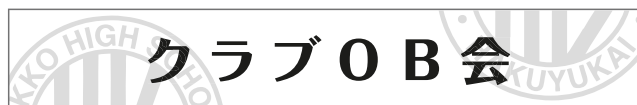
文責：幹事一同(菊池・北村・香西)

森一産業株式会社

〒550-0012 大阪市西区立売堀5-4-40

代表取締役 渡辺喜弘(44期)

TEL(06)6541-2271, FAX(06)6541-2302



■陸上競技部OB会報告

日時：2023年1月2日(月・祝) 18時～20時

場所：錦 三宮本店

参加者：[15名] 山本(31期)、長野(42期)、西本(42期)、
松本(42期)、田名部(42期)、岩石(46期)、
白壁(63期)、本間(65期)、向畑(65期)、
稲葉(75期)、大池(75期)、小幡(75期)、
児玉(75期)、尾上(77期)、井畑(79期) (敬称略)

陸上部OB新年会が2023年1月2日、錦三宮本店にて開催され、31期から79期までの総勢15名が集まりました。

OB会は幹事の乾杯の挨拶で始まり、その後参加者の自己紹介と近況報告が行われました。

近況報告では、六甲生の活躍の場の広さが伺え、僕自身も先輩方のお話を聞きながら、将来のことを考える良い機会となりました。

今年は記録集、陸上だよりの紙での配付は行わなかったもので、新年会前にデータで送らせていただき、現役の学生の活躍などを話に交えながら非常に楽しい会となりました。

最後は、幹事の一本締めで終わり、またの再会を誓いつつそれぞれの帰路に着きました。

【重要連絡】

幹事について重要連絡がございます。今まで四年間ほど75期稲葉が幹事を担当しておりましたが、次年度から79期の北島に引き継ぐことになりました。新型コロナウイルスの影響で二回ほど開催出来ないときもありましたが、今年度から再会できたことうれしく思います。

今後も引き続き対面の場を設けていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

今後のOB会の連絡は以下に示す北島の連絡先からご連絡させていただきますのでご了承ください。

<連絡先> 北島(79期) haruki000122@outlook.jp
(75期 稲葉丈人)



トピックス

稲垣先生の卒寿をお祝いする会

2023年8月5日（土）、軟式庭球部OB会による『稲垣先生の卒寿をお祝いする会』を開催いたしました。軟式庭球部は近年人数減少により休部となっていますが、稲垣先生にお世話になった30期代～40期代を中心に年に1～2回のOB会を継続して実施しております。ここ数年はコロナ禍の影響により開催できておりませんでしたが、今回稲垣先生の卒寿のお祝いを開催させていただくこととなりました。



当日昼間の猛暑の中でのテニスでは、33期～50期までの壮年のOB達が名（迷？）プレーを披露し、稲垣先生にもテニスを観戦いただきながら当時の思い出話などをお聞かせいただきました。

また、夕刻からは33名というOB会史上最大人数によるお祝い会を開催。各期のOBから当時の思い出話を披露しつつの祝辞や稲垣先生から怒られた話など、あっという間の2時間半でした。

稲垣先生は御年91歳になられますが、非常に元気。会の最後にはスピーチをいただきました。参加したOBの思い出話では当時の情景をありありと思い出させるような面白いお話をいただき、最後は『次は白寿（はくじゅ）を飛び越して百十（ひゃくじゅう）まで頑張ります！』との力強いお言葉で締められ、場が大いに盛り上がりました。

残念ながら軟式庭球部からは新しいOBが出て参りませんが、テニスは歳をとっても続けることができる生涯スポーツですので、今後もテニス+宴会という伝統のOB会の形式を保ちながら、稲垣先生に負けないよういつまでも元気でい続けたいと皆で誓いあったOB会でした。

稲垣先生、いつまでもお元気で！そして白寿、百十と先生をお祝いさせていただきますね。（50期 青田雄弘）



フリン先生を偲ぶ会 六甲学院別館開催第6回

開催日：2023年7月22日

17期、29期、35期、50期の総勢22名ご参加頂きました。六甲学院別館の聖堂にて35期酒井副司教様、英神父様の司式で御ミサを出来た事は幸せでした。

コロナ下で永く集まる事が出来ませんでしたが、ようやく開催に漕ぎ着けました。

自然発生的に産まれたこの会が自主的な多くの幹事様達によって運営されている事にフリン先生の導きを感じます。

次のフリン先生を偲ぶ会は

2024年2月4日（日曜日） 11：00

四ツ谷 イグナチオ教会 地下クリプタ にて

井上 潔 神父様に御ミサの司式をして頂きます。

関東地区代表

幹事は23期大谷様

夜の宴会の部の幹事は35期津吉様

（29期 藤井則雄）



伯友会ジュニア連続2回開催！

●2023年度 第1回目 6/14 伯友会ジュニア@三宮

伯友会ジュニア第1回目は三宮のお好み焼き「てつ」にて開催しました。

49期小林紀方先輩、50期青田・大谷・東田・善野・山本・藤枝の参加で、2次会からは59期金君も参加いただき、昔ばなしから六甲OBによる在校生サポート（修学旅行・海外研修・国内での職場訪問研修）の話、男の子を持つ親たちは最近の中学受験事情の話、我々にとっての六甲とは？等々話は尽きず、2次会につながっていきました。後ろ髪引かれる思いで終電に飛び乗りました。

伯友会ジュニアという歳でも無くなりつつあり、間もなく50歳という年齢で伯友会ジュニアを任されているのですが、後輩をもっと呼び込まないといけなと、まじめに

反省する場面もあったおじさん達でありました；



●2023年度 第2回目 7/8(土)

伯友会ジュニア@水道筋

本日は六甲伯友会幹事会でありました。その裏時間からこの伯友会ジュニア第2回は宴が始まっておりました。幹事会出席組の中には坂を駆け下り宴に参加しました。

場所は阪急王子公園駅から徒歩10分くらいの水道筋のど真ん中、「エニシバ」というイタリアンバルという感じのコンパクトなお店でした。そこにおっさんの団体様が所狭しに座り、熱い話をしておりました。

オテルド摩耶の総料理長のお店というだけあって、出てくるお料理はどれも非常に美味しく、おっさんたちにはもったいないお料理の数々でした。

ちょっと見つけにくい所ですが、一度足を運ばれてはいかがでしょうか？

上記の人数以下でないと入れませんが；

さて、参加者はと言いますと、再びのご参加49期小林紀方先輩、50期藤原・青田・山本・梶木・藤枝、55期水口君、56期小松原君・寺川君・棕野君、66期荒木君も参加してくれて、久々に伯友会ジュニア的な感じで若さを感じました。

これだけ人数がいるとそれぞれ3人4人ずつでの会話になり、メインは来年の56期幹事の懇親会の話題でした。50期はすぐ六甲大祭りのときは... というのが口癖なのできついところもあったと思いますが、先輩としてはフレッシュな後輩に失敗して欲しくないという老婆心というか爺心で一杯、後輩本人たちは何とかなるだろうという感じを思っている、そんな絵面ではなかったかと思えます。来年はポートピアホテルでの開催ということで幹事たちへの負担は軽くなるのかなと思われまふ。ただ、何かとお節介焼きの先輩としては、何かやってあげたくなる、そんな一幕でした。おいしい料理に楽しい話に先輩後輩と一つの目標

に向かって何かをやって行く、こんな幸せなひとときがあるでしょうか。次の代は57期、58期...その辺りまで徐々に加わって欲しいと願う、ぎりぎり伯友会ジュニアの一六甲OBの願いであります。

さあ、第1回・第2回と連続して開催しまして、第3回の日程が気になる所でございます。またぎりぎり伯友会ジュニアの50期中心に、近々開催したいということで、お楽しみにして下さい！是非ご参加ください！

(50期 山本浩之・藤枝誠)



大森一樹君のこと

映画監督の大森一樹君が昨年(2022年)11月に亡くなった。一昨秋に「しんどい...」と言って検査を受けたら思いもかけず急性骨髄性白血病と分かり、以後抗癌剤治療更には骨髄移植にも臨んだが最終的には拒絶反応が出て帰らぬ人となった。余りの若さに今だに気持ちが整理できないままだ。

その大森君だが、実は私自身は六甲在校時代の付き合いは少なかった。というか、高校から六甲に編入してきた大森君は、私からはなんとも窮屈に過ごしているように見えていた。そりゃそうだろう。普通に公立中学を過ごしてきた者がいきなり授業前に瞑目し、午前中には上半身裸での中間体操、放課後はまた裸で便所掃除の生活に戸惑うのは当然だろう。後ろの席の大森君が、朝登校してきてパンツ一丁になってトレパンに着替えながら「こんなんおかしいやろ」とぼやいていたのを覚えている。授業で先生に当てられて立った後、例の机と一緒に立った椅子にごそごそと大きな体を落こませる姿も窮屈そうだった。

私にはそんな風に見えていたが、実は友人何人かと「貶し(けなし)の会」というのも作り、昼休みは職員室横の小部屋で弁当を食べながらぼやいていたというから、存外

行政書士鈴木聡事務所

代表行政書士 鈴木 聡 (48期)

TEL 080-9753-1753

E-mail: suzuki304gyo@yahoo.co.jp

森本謙税理士事務所

〒657-0051 神戸市灘区八幡町2丁目6-11 サン六甲201

税理士 森本 謙 (49期)

TEL (078) 767-1601, FAX (078) 767-1602

E-mail: k-morimoto@kcc.zaq.ne.jp

楽しんでいたのかも知れないし、その頃からちょっとひねった視点で世の中を見ていたのかも知れない。一方では好きな8mmカメラを回して文化祭や競歩大会の記録を撮ったりと彼なりの高校生活を送っていたようで、競歩大会にカメラを忍ばせて走り出して最初の関門でリタイアし、以後は収容バスから大会を記録するなんて言語道断だが彼なりの六甲生活だったかも知れない。

そんな大森君との付き合いが始まったのはお互いが浪人した予備校（大道学園）時代。なんとなく勉強にも身が入らず、うだうだしていた印象が強いが、ようやく大学に入学してから大森君も明るくなったというか、自由な雰囲気、が漂い始めたように思う。「好きな映画を思いっきり楽しむぞ」と何かから解放された気分だったのかも知れない。

ある日（1972年）、大森君から「映画撮ろう。明日黒っぽい服を着て来いや」と連絡があり大森宅に行ってみたが、その時は台本も絵コンテも演技指導もなく、ただ8mmを回す大森君の指示で私が飛び跳ねるだけ。無茶な監督指示に躊躇する私だったが、「さあ、練習のつもりでやってみよう！」となだめすかされて撮影は終了。大森君の家でフィルムを切ったり貼ったりして編集し、その画面を見ながら同級生の上坂辰男君が全くのアドリブでナレーションを入れた。僅か2日で出来上がった映画が「空飛ぶ円盤を見た男」。

そんな感じで暫くは8mmで小さな映画を撮ったりするただの映画好きな大学生のように見えていたが、いつの日か「年300本映画を見る」とか言い出して、当時京都にあった映画館「京一会館」に通いだした。そして見るだけではなく、見た映画のことや映画にまつわるいろいろなことをいっぱい書き込んだガリ版刷りの「京一新聞」を一人作ったりしていた。映画にまつわることを発信したい、表現したい若いエネルギーが溢れ出していたんだと思う。

そして唐突に大森君から「今度16mmで映画撮るわ」と話しが出たのが1974年。丁度8mm「死ぬには間に合わない」と撮った後だったが、いよいよ商業上映を意識し始めたんだと理解した。「そんなもん出来るん？ 第一お金は？」と心配するのをよそに彼自身が着々と話しを進め、神戸のサンテレビに古い白黒の16mmフィルムを譲り受ける話をつけたりとかの準備を進め、いよいよ10月から映画『暗くなるまで待てない』の撮影がスタートした。

今度は台本はしっかりしているし、撮影順のシー一覧に役者、スタッフ、小物などがきっちり書かれ、大事なシーンのカット割りも指示されていて、2年前の「空飛ぶ」

の時とは大違い。この2年の間にただ映画を見るだけではなく、映画監督をしていくための勉強を重ねていたんだなと強く感じた。

とは言え皆初めての16mmの世界。本格的なカメラマンなどおらず、当時新聞記者で記事用に写真を撮る程度だった高橋聡さんという人に担当してもらうことになった。当然尻込みする高橋さんに例のフレーズ「練習のつもりでやってみよう」のノリでなんとなくスタート。それでも、いろいろ現場ではもめることが多々あることで、若者の集まり故にいろいろあったが、そんな時に普段軟弱そうに見える大森君が意外にも「じゃかましい。これは俺の映画や。」「監督の俺が決めるんや」とピシャリ。でも怒鳴るわけでもなく、言った後に照れ笑いを浮かべる感じで、彼の周りにはいつもそんなおおらかさがあったように思う。

翌春（1975年）出来上がった映画の最初の上映会は兵庫県立会館。友達、知り合いに500円のチケットを押し付けるように買ってもらった「暗くなるまで待てない」だったが、いつの間にか評判を呼んだようで、九州から東京まで上映会を開催したりし、結果的にはその年の「キネマ旬報」のベストテンで自主映画ながら堂々の21位にランキングした。大森君にとっての出世作となった。

そして1977年にはシナリオ「オレンジロード急行」でプロの脚本家、映画監督を目指す人のための「城戸賞」を受賞。78年にはその脚本を携えて松竹にて商業監督デビュー。大手撮影所の助監督の経験も踏まず、しかも自作シナリオでプロデビューするのは当時本邦初。彼の長年の映画愛がようやく実った瞬間だったろう。現場では経験豊富なスタッフ陣に取り囲まれ、彼自身も戸惑うことも多かっただろうし、悩む場面も多かったかも知れないが、きっと声には出さずとも「俺が監督や。決めるんは俺や」の気概で乗り越えていったんじゃないかなと思っている。

78年に私達と映画「夏子と、長いお別れ」を撮ったのを最後に本格的に商業映画監督として羽ばたいていった。2011年ぐらいまでは毎年、映画やテレビドラマを撮り続け、1986年、1996年には日本アカデミーの優秀監督賞を受賞するまでになると共に合わせて大学にて後進の指導、育成に注力していった。多忙、多彩な人生だったし、まさに好きな映画一筋に生きてきたんだと痛感する。

2012年関西テレビで著名人が自分の心のふるさとをめぐる「ノスタルジア（ココロの旅）」という番組に大森君と一緒に出演した。大森君が選んだ場所の一つは勿論六甲学

非鉄金属

ワイメタル株式会社

〒675-1122 兵庫県加古郡稲美町中村 1216

横山央祐（49期）

横山洋介（55期）

TEL (079) 492-7314, FAX (079) 492-6599

**神戸サン司法書士事務所
神戸サン相続遺言相談所**

〒650-0031 神戸市中央区東町 116 番地の2 オールドブライト 4 階

司法書士 **渡邊三郎（49期）**

TEL (078) 333-0088, FAX (078) 333-0038

E-mail: watanabe@westkobe.com

院だった。私にはなんだか窮屈そうには見えていたが、彼にとって六甲学院は自分を育んだ大事な場所になっていたんだと知り安堵した。

今は思いもかけず向こうの世界に行ってしまったが、違う形で存分に映画を楽しみ、映画で遊んでいるんだろうと思っている。次に再会した折には、また映画の続きの話をしたいと思う。大森君、元気で！

個人的な追伸を追記させて頂きたい。

二十歳過ぎに大森君に映画作りを誘われた。あの時の現場のワチャワチャ感、物作りの楽しさがきつと心の奥底に残っていたんだろう。それなりの会社人生を送ってきた私だったが60歳で早々にリタイア。還暦を迎えて役者見習いを始めた。大森君とは「映画で使ってくれや」「わかった、わかった」と言い合っていたが、叶わないままに終わってしまって寂しい限りだ。私ももう古希を過ぎた。でももう少し映画の世界、芝居の世界に関わりながら、大森君と過ごしたあの楽しかった日々を楽しんでみようと思う。「大森、見てるか！」 (27期 南浮泰造)

43期・仁木啓介氏からのお礼とお願い

伯友会オフィシャルサイトで、上勝町開拓団のどぶろく作りに関するクラウドファンディングを告知いただき、みなさまに多数ご支援いただきました。



どぶろく酒蔵「エルミタージュ・バレー酒ブリュワリー」も、もうすぐ1周年を迎えようとしています。その節はありがとうございました。たくさんの方のみなさまにご支援いただき、最初は順調な滑り出しでした。徳島県内の酒屋さん、飲食店さんでも扱って頂けるお店が増え、なんとかなるだろうと思っていました。

「ちょっとヤバいかもしれない」

そんなことを思い出したのは今年の夏頃から。冷蔵庫の在庫の数があまり減らないのです。酒造関係者に相談すると「最初のご祝儀注文もあるけど、そのあとはどこも苦労する」「全国に30軒は取引がある酒屋さんがないとダメ」「どぶろく自体の認知度が低いから、イメージ作りが大切」などとアドバイスをもらいました。どぶろくがしっかりと売れるようにならなければ会社が続かない。逆に言えば、どぶ

ろくがしっかりと売れるようになれば、これからも上勝町で持続可能な産業になりうる、ということです。

これまでは映像制作やグランピング事業などで、私がかなか県外に営業に行くことができませんでした。今はまず、どぶろくの営業と心を決め、グランピング事業は一旦休業し、映像制作も仕事を受けるのをやめました。とはいえ、上勝開拓団の強みは映像制作なので、どぶろく営業の様子をYouTubeで配信することを始めました。この逆境を逆手にとって、もっともっとファンを増やしていきたいと思っています。これから新米を使った2年目の酒造りが始まります。スタッフ一同で話をしているのは、もっと上勝町を感じられるどぶろくを造ろう。上勝町の風土を感じ、風景が目に見え、人々の暮らしが想像できる酒。そんな酒を目指して今年の酒造りをスタートさせます。メインの商品であるどぶろく庵仁の味も少しずつ変えていきます。最近話題になっているホップやフルーツなどを使ったクラフトサケにもチャレンジします。定期的に新商品、季節限定商品なども造っていきますので、ますますの応援をよろしくお願いいたします。

最後にみなさまにいくつかお願いがあります。

YouTube「どぶろくバカー代」をぜひご覧ください。関西営業編はこれから順次公開します。チャンネル登録、高評価もよろしくお願いいたします。

<https://www.youtube.com/@dobubaka>

オンラインショップで10月末まで4本以上ご購入の方は送料無料キャンペーンをしています。どぶろく庵仁、フレーバーどぶろくつきのみ（すだち、ゆず、ゆこう）をぜひ飲み比べてみてください。

<https://kaitakudan.base.shop/>

お知り合いや酒屋さんなどで興味を持っている方がいたらご紹介ください。

まだまだ先行きは厳しい状況が続いていますが、いつの日か日本中の人々が待ちわびるようなどぶろくを造ってめます。今後とも応援よろしくお願いいたします。

どぶろくバカー代
DOBUROKU BAKA ICHIDAI



どぶろくバカー代

@dobubaka - チャンネル登録者数197人・5本の動画

このYouTubeチャンネルでは上勝開拓団の社長ニギが、どぶろくを売るために全国を旅し、

kaitakudan.net、他3件のリンク

チャンネル登録



MSC 株式会社 MSC

〒559-0031 大阪市住之江区南港東2-2-2
代表取締役社長 稲垣 潤 (54期)

TEL (06) 6612-8700, FAX (06) 6612-8702
URL: <https://mscnet.jp/> E-mail: inagaki@mscnet.jp

六甲国際ゴルフ倶楽部

〒651-1263 神戸市北区山田町西下字押部道15番地
常務取締役 加藤 敏 (62期)

六甲国際ゴルフ倶楽部 TEL (078) 581-2315 六甲国際パブリックコース TEL (078) 583-0351
URL: <http://rokkokokusai-kobe.jp/> E-mail: s.kato@rokkokokusai-kobe.jp



OB講演会

OB講演会

混沌の世界の中で ～Critical Thinking (吟味思考) のすすめ～

スマートメディア研究所 所長
山脇岳志氏 (39期)



5月15日(月)、第16回OB講演会が行われました。講師の山脇岳志氏は朝日新聞社でジャーナリストとして活躍され、現在はスマートニュース社でメディア研究所所長を務めています。六甲時代のよかったこととして、よい仲間、先生との出会いを挙げられました。山脇さん

がジャーナリストの道に進むきっかけとなったのは、故室田先生(国語科)に文章を褒められたことでした。また、外国人の神父が何人もいる学校で教育を受けたおかげで、海外アレルギーがなくなり、異文化理解にも役立ったそうです。

本題に入ると、最初にフェイクニュースを見分けるクイズがあり、会場は大いに盛りあがりました。実はフェイクニュースを見破ることは非常に難しく、写真や動画を観て、私たちはつい騙されてしまうことも多いのです。それを防ぐためには、たとえば「だいじかな(だれ、いつ、情報、

関係、なぜ：情報の発信源やコンテキストを理解する)」法、「横読み(さまざまなサイトを開き、情報を横断的に確認する)」法など、いくつかの方法があるそうです。

良くない知らせもあります。いま流行りのAI技術を駆使すれば、ディープ・フェイクと呼ばれる虚構情報を簡単に流布することができます。話題のChat GPTを用いれば、「不自然でない」フェイク情報を量産できるでしょう。さらに歴史学者のユヴァル・ノア・ハラリ氏はこう言います。「私たち人間は、虚構の物語を創作して、それを信じる能力のおかげで、世界を征服した。したがって、私たちは、虚構と現実を見分けるのが大の苦手だ」と。続けて彼は「人類が文明を築けたのは『虚構』を信じるようになったから」とさえ、指摘するのです。いったい私たちはどうすればいいのでしょうか。

最も大切なのはメディアリテラシーを身につけること、と山脇さんは語ります。そのためには、①すべてのメッセージが「再構成」されていることを理解すること、②ときどきCritical Thinking(吟味思考)を行うこと、③メディアの仕組みを理解することが必要なのだそうです。

リンカーンの「意思あるところに道がある」という言葉を六甲生に贈って、山脇氏の講演は締めくくりとなりました。質疑応答の時間では、フェイクニュースに関する質問とともに、山脇さんも所属していたマスメディアのあり方について、厳しい質問が寄せられました。それらの質問に丁寧に答え、終始穏やかな表情で六甲生に語りかける山脇さんの姿が、とても印象的でした。(40期 山岸禎一)



OB講演会

医師として、外交官として、海外で働く ～六甲中学・高校で学んでおいてよかったこと もっと勉強しておけばよかったこと～

外務省・在ジブチ大使館 医務官・参事官
後藤浩也氏 (46期)



7月11日(火)、期末試験の
答案返却授業後、全校生がザビ
エル記念講堂に集まりました。
壇上には46期卒業生の後藤浩也
氏。自衛隊で医官として活躍さ
れ、現在は外務省医務官として
在ジブチ大使館で勤務。今春、
スーダンからの邦人待避に際し
て、健康管理・調整活動に携わ

りました。このときの報道映像に後藤さんが登場したことがきっかけとなり、緊急講演会が企画されました。

後藤さんの夢は医師と外交官でした。通常、このふたつは全く違う職種と思われるが、現在後藤さんは外交官パスポートを持つ医師として活躍しています。後藤さんの夢はどのようにして実現したのでしょうか。

後藤さんは東大をめざすも失敗、防衛医大を経て、医官として自衛隊に入隊。アメリカに派遣されて医師として研鑽を積むとともに、米軍司令部でも勤務しました。2010年のハイチ地震に際しては、南部マイアミで、自衛隊緊急援助隊の連絡調整にあたり、翌2011年の東日本大震災では、米軍による「トモダチ作戦」受入れに際し、調整役を務めました。そして2022年外務省に移り、在ジブチ大使館医務官として現在に至ります。このような後藤さんの経歴をみると、豊富な海外経験や対外調整活動の実績が、二兎を追う夢の実現につながったといえるでしょう。

ジブチは海外で自衛隊の拠点がある唯一の国ですが、他に数カ国の軍隊が駐屯し、共同で海賊対処行動を行っています。海賊といっても、漁船のような小舟で航行する巨大

なタンカーに乗り付け、乗組員を人質にとって身代金を手に入れることが目的で、通常流血の惨事にはならないそうです。各国の軍隊の役目は、海賊船がタンカーに近づかないよう、空と海から監視することです。

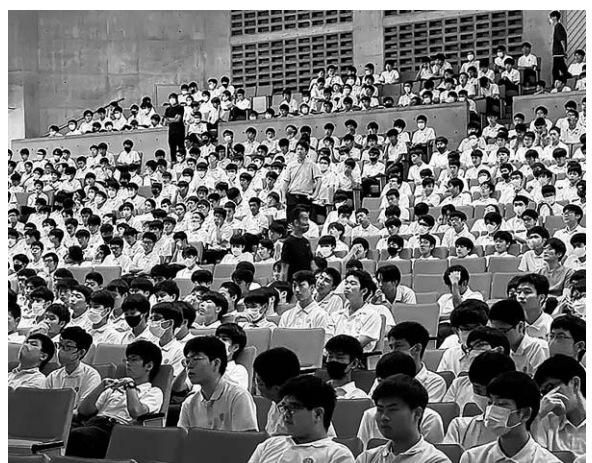
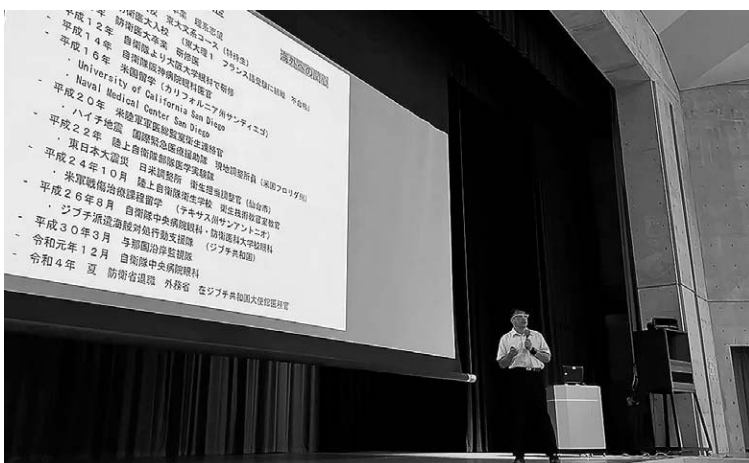


外務省医務官としての後藤さんの仕事は、医務室での勤務(医療活動)、現地の医療事情把握(各国軍の医療関係者との情報交換や、近年拡大しているマラリアに関する情報収集など)、邦人保護(コロナの重症患者のチャーター機による搬送など)です。これらの仕事すべてに、医療知識とコミュニケーション能力が必要だと、後藤さんは語ります。そしてその基礎を作ったのは、六甲の学びだったということです。

まず六甲がカトリックのミッションスクールであること。海外では宗教色を帯びた儀式に参列する機会があるけれども、その際に相手の気分を害さない配慮ができることは、立派なコミュニケーション能力であり、六甲でのミサ経験が役に立ったそうです。また古文・漢文は異文化理解に役立ち、現代国語や数学は論理的思考につながったとのこと。化学の知識は、後藤さんの専門である眼科で役立ち、六甲であまり勉強しなかった物理も、光学器機を理解するために、学び直したそうです。また英語、特に文法の知識は、現在のフランス語学習に大いに役立っており、地学の知識は、ジブチの風土(アフリカ大地溝帯や塩湖など)の理解に資するところが大きかった…。六甲の学びが、後藤さんにとっていかに有用で大事なものであったかを強調なさいました。そしてみなさんも六甲でよく学び夢を実現してほしいと、後輩たちにエールを送ってくださいました。

これほど興味深い講演会は初めてだと、終了後の交流会に駆けつけた生徒がいました。大きな身体と大きな声で、気さくに後輩たちに語りかける後藤さんの姿は大変印象的で、後藤さんの背中を追って、医療や外交の道に進む生徒が現れるかもしれません。

(40期 山岸禎一)



書籍紹介

『神さまの宝もの』(申命記・中)

著 者：大頭眞一 (36期)

出版社：ヨベル

価 格：1,100円+税

内容(帯の記載)：

禁忌があるのは人を縛るためじゃない。新しいいのちに向かって解き放つため。フクロウは食べないけれど、ウナ丼は大好き。イワダヌキに縁はないが、豚肩ロースは食べちゃだめですか？ ツッコミどころ満載の食物規定の箇所を、現代の聖書料理人を自認するパスター・オオズ、さあ、どう料理する!?「申命記」講解、白熱の2回戦。第7冊目！ (36期 大頭眞一)



『焚き火を囲んで聴くキリスト教入門』

著 者：大頭眞一 (36期)

出版社：いのちのことば社

価 格：1,300円+税

内容(出版社ホームページより)：

月刊誌「百万人の福音」での連載「焚き火相談室」からセレクトした、聖書や信仰の話をまとめた一冊。毎回、テーマに合ったゲストを招き、相談室長の大頭牧師との対談で、難しいテーマも分かりやすく解説していく。ちょっと変わったキリスト教入門書。 (36期 大頭眞一)



『手紙からみた明治の群像 —子規の叔父 加藤拓川と日露戦争の時代—』

著 者：正岡 明 (21期)

出版社：雄山閣

価 格：2,800円+税

著者の正岡明氏(21期)は俳人正岡子規の戸籍上の孫である。戸籍上というのは子規と明氏は血縁ではあるのだが、直系の孫ではないからだ。子規には子がなく、正岡家を継いだ妹律にも子が生まれなかったもので、この本の主人公である親戚の加藤拓川(恒忠)の三男忠三郎を養子に迎えたのである。その忠三郎の次男が明氏である(長男の浩氏は六甲15期)。加藤拓川は明治から大正にかけて活躍した政治家で衆議院や貴族院議員を歴任し、亡くな



る直前迄松山市長を務めていた。友好関係も犬養毅、高橋是清、近衛文麿、牧野頭、後藤新平、秋山好古をはじめ多士済々、綺羅星のごとくである。そういった面々からの多数の手紙や揮毫が正岡邸で見つかったのだ。文字通りこれらは1級の歴史資料である。この資料を元に、明氏が明治、大正という時代を書き綴ったのである。

司馬遼太郎に『坂の上の雲』という日露戦争に日本が勝利する迄を描いた名著があるが、この本は拓川の亡くなる1923年迄を中心に書かれており、『坂の上の雲』のアナザーストーリー或は続編ともいえる名書である。ご一読をお薦めしたい。 (32期 近藤健)

宗清裕之 (33期) 著書 『スタジオが燃えている』

著 者：宗清裕之 (33期)

出版社：シンコーミュージック・エンターテイメント

価 格：2,000円+税

同期(33期)の最も尊敬する親友の一人に宗清裕之がいる。あいうえお順で名前が近いので中一のクラスで席が近く、オリエンテーションの初日から仲良くなった。中学時代から洋楽好きで、シルヴィ・バルタンに恋をしたかと思えばいつの間にかシカゴやディープ・パープルにはまっていったハードロック大好き少年。心優しく誰からも好かれるオチャラケの人気者だった。学校に内緒でよく大阪フェスティバルホールや厚生年金会館にも出かけて行っていたようだ。高校時代組んでいたバンドではキーボードを奏でたが、ドラム・ギター・ベースも器用にこなした(本人は否定しているが)。彼のロック愛は冷めることなく、早稲田大学卒業後当然の如く(と私は思っていた)レコード会社に就職した。新人時代は確か当時の人気アイドル河合奈保子の担当プロモーターで、正直とても羨ましかったのを思い出す。転職先のレコード会社では演歌の大御所にも可愛がられた。しかし彼が本当に愛した音楽はやはりハードロックだった。社会人としてのファーストステージ五千日をかけて日陰的存在だった日本のロックシーンを制作現場から支え、牽引し続けた。

そんな宗清が回顧録を出した。題して『スタジオが燃えている』。言わずと知れたイエローモンキーの名曲「太陽が燃えている」をオマージュしたタイトルだ。日本コロムビア時代の活躍を中心とする330ページに及ぶ大作。彼の音楽人生前半の集大成。生い立ちから六甲・早稲田の学生時代、販売プロモーターから制作ディレクター・プロデューサーへ、言うことを聞かないアーティスト達、業界での様々な葛藤等々を赤裸々に綴った酒と汗と涙のストーリー。よく泣く男である。



彼が苦楽を共にし育て上げた代表的なアーティストは、ラウドネス、レッドウォーリアーズ、イエローモンキーといった面々。40代50代のロックファンなら誰もがご存じの筈。ロックに馴染みのない方でもバラエティー番組によく出演しているダイヤモンドユカイがレッドウォーリアーズのリードヴォーカルと聞けばお分かりになるだろう。イエローモンキーは数年前に紅白歌合戦にも出演している。俳優川光博をロック歌手にしたのも宗清だ。

常に理想を求めたがるアーティスト達と、利益追求を宿命とするレコード会社との板挟みに喘ぎ続けたが、一貫していたのはバンドメンバーの一員になって仲間を理解し苦楽を共にしようと懸命にもがく姿だ。

この本に記されている、LAでのイギリス人プロデューサーの録音手法に対する驚き・戸惑い・反発、しかしまた

そこから世界の最先端技術を必死に吸収する貪欲さ、そして「レコーディングを通してバンドは上手くなる」という信念、「日本語の曲を聴く人にとって、最後に行きつくところは歌詞だ」というこだわり、「過去の音楽へのリスペクト」も強く心に残る。

解散したり移籍していくアーティスト達との別れ・虚しさ・わだかまり・責任・後悔は読んでいて切ない。しかし彼の心底に流れるものは去り行く一人一人へのシンパシーと、共に成長していこうという願いだ。そこには六甲時代から少しも変わっていない宗清がいた。だから彼らはたとえ袂を分けた後でも宗清の下に集まってくる。生きる世界は違うが私もその一人でありたいと願う。

この本は今まで宗清裕之に関わってきた音楽人たちへのオマージュに溢れた一冊だ。 (33期 山口明彦)

編集後記

■ いつの間にか傘寿を迎えました。常任幹事では20期の後は27期と突出して年齢が離れています。老醜をさらすまいと思いつつも広報委員会からお呼びがかかり、ノコノコと会報誌発行の打合せに出掛け、次は打ち上げに顔を出しキセル乗車ならぬキセル委員を決め込むつもりでしたが、校正の指示をいただいたので気がついたところに朱を入れました。多分漏れが沢山あり他の委員にご迷惑をお掛けしたのではと危惧しています。私を呼び出さなければならぬほど広報委員会は人手不足です。奇特な方のお申し出を待っています。 (20期 宇都宮光)

■ 10年ほど前に、ふとしたキッカケで近所にあったバーに行くようになりました。バーテンダーさんが話しかけてくれて、気が付いたら横の人と一緒に話すような空気を作ってくれるので、一人で行っても楽しい時間を過ごせるようになり、いつしかバー仲間ができて、色んなバーに馴染みができました。2年前から大阪の老松通りに事務所を構えて、今では大阪にも数軒行きつけのお店ができました。バーや飲み屋が社交の場だと知って、人生の楽しみが広がったので、みなさんにもお勧めします。因みに僕は、自宅では晩酌をしない奴です。 (42期 松下治正)

■ 色々な多様性が求められている中、伯友会誌も例外ではないと思います。年齢の違い、住む場所の違い、仕事の違い等によって、求められるものが違うと思います。例えば、発行形態、内容に何を期待しているか、ホームページ等からご意見をいただければありがたいです。より多くの人に読みたいと思われる方向に進めたらと思います。 (42期 森下秀明)

■ 今年度から広報委員会委員長を任せて頂いております。伯友会、またその中の広報委員会としての存在意義は、「現役生と卒業生の架け橋になる」ことではないかと考えています。この秋号はその第1号となり、現役生とのインタビューを特集としました。また出版会社を変更し、新たな「伯友」を作るべく取り組んで行きたいと考えております。まだまだ手探りではありますが、伯友会オフィシャルのホームページやX (旧Twitter) で日常的に情報を発信し、また伯友秋号・春号では紙ベースで読んで楽しめる情報をお届けし、現役生と卒業生との交流の活性化につながっていければと思っております。もちろん卒業生同士の交流の活性化も重要ですので、こちらも意識して取り組んでまいりたいと思います。8月に六甲学院で現役生にインタビューをし、また6年ぶりについて先日六甲学院の文化祭に訪れて現役生と交流をし、今の六甲や六甲生は時代の変化やトレンドで変わったなあ、進化しているなあと思う反面、便番・体育祭・中間体操の上裸にこだわるという骨の髄まで浸透した六甲精神を持っていて、やはり六甲は変わっていない、伝統は受け継がれているなあとも感じます。卒業生の方々も是非生の現役生と交流頂き、彼らの想いを感じて欲しいですし、キラキラした彼らにご自身の経験から何かを伝えてあげて欲しいと思います。文化祭・体育祭に少しでも多くの卒業生の方々にご参加頂き、また伯友会として現役生・卒業生の交流の場を作って相互関係を活性化していければと思います。ご意見ありましたらご連絡をお願いします。今後ともよろしくお願い致します。 (50期 藤枝誠)

会員の皆様へ

■会誌「伯友」秋号の発送について

六甲伯友会の会誌「伯友」の春号は会員全員に、秋号は会費納入者で秋号の送付を希望される方と、六甲学院を卒業後4年間に該当する方、全員に送付いたします。

広報委員会では、情報提供をホームページ等を通じて会員サービスの向上を諮っております。ご意見・ご質問・ご要望等ございましたら、伯友会事務局までご連絡下さい。

尚、秋号送付を追加で希望される方は事務局までお申し出下さい。

■会費について

会員には会費の納入義務があります。会費は伯友会にとって重要な収入であり、伯友会運営にとって貴重な財源です。

657-0068

兵庫県神戸市灘区篠原北町1-8-25

伯友太郎 様
(00-00-00)
期 学年での番号 会費納入状況

あなたの会費が何年度分まで納められているかは宛名の右下に記載されています。もしあなたが終身会員であれば、会費納入状況は『終身』となっています。2023年度分まで納入済みの方は『2023』となっています。また、会費納入実績がない場合は記載がありません。

年会費：年会費は3,000円です。会費未納期間が3年以上ある場合は、2年前に遡り本年度分を含めて3年分納入いただきます。

終身会費：終身会費は45,000円です。既に半数以上の会員が終身会員になっています。終身会員になると年会費の納入の必要がなく、毎年会費を納入する煩わしさもなくなります。また、過去の未払いの年会費を遡って徴収することはありませんので、終身会員になられることをお勧めしています。なお、今年度以降の会費を納入済みの方にはその分を45,000円から差し引かせていただきます。

■伯友基金について

伯友基金は六甲学院の教育活動と社会奉仕活動のために使用する目的で1993年に設立された基金です。第3運動場のナイター照明や高校教室のプロジェクター設備なども、この基金を活用して設けられました。また、基金の一部から、東ティモール聖イグナチオ学校奨学金プログラムへの協力も行っております。

■伯友奨学基金にご協力を

六甲学院からの要請を受け、「伯友奨学基金」を設立しました。昨今、学費に困窮する学生が増え、大学生の二人に一人が約300万円の負債を負って社会に出るのが日本の現状となっています。また、長引くコロナ禍によりアルバイトなども制限され、収入の道を閉ざされた人たちも増えております。六甲学院も決して例外ではなく、奨学金を必要とする学生が年々増加しております。“家庭の経済的理由で六甲学院を去らねばならない後輩をひとりも出したい”という思いで設立された奨学基金です。

伯友会からの奨学金として、年間約50万円の授業料相当分を一人もしくは二人に給付していくことを目標としており、これからも継続的な積み立てが必要です。引き続き基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

*ご入金の際には必ず期・氏名をメール又はFAXで事務局までお知らせください。

*寄付者のお名前は会誌の春号に掲載されます。匿名希望の方は併せてお知らせください。

■伯友会事務局からのお知らせ

伯友会事務局執務時間は年末年始とお盆の頃を除いて原則的に月・水・金曜日のP.M. 1:00~P.M. 5:00迄です。ご用件の内容によっては、即答出来ない場合もありますが、必ず調べた上お答えいたしますので、ご遠慮なくご連絡下さい。

伯友会会費の納入は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 1103520 □座名 六甲伯友会
- 郵便振替
□座番号 01110-8-73016 □座名 六甲伯友会

伯友基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 3692900 □座名 伯友基金

伯友奨学基金への振込は

- 三井住友銀行六甲支店 (421)
□座番号 (普通) 4513835 □座名 六甲伯友会奨学金

伯友83号

発行日 2023年10月17日
発行人 藤本久俊
編集・構成 広報委員会
印刷 福田印刷工業株式会社

伯友会事務局

〒657-0068
神戸市灘区篠原北町1丁目8番25号
六甲学院生徒研修所内
TEL. 078-861-6588 FAX. 078-861-6573
E-mail: office@hakuyu.jp
ホームページ: www.hakuyu.jp



2023年度六甲伯友会懇親会

2024年
4月14日(日)
ポートピアホテル
六甲伯友会総会
懇親会
は56期が
幹事を担当します



伯友

No.83
2023.10

■発行人 藤本久俊 ■編集・構成 広報委員会

伯友会事務局

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町1丁目8番25号
六甲学院生徒研修所内
TEL 078-861-6588 FAX 078-861-6573
Eメール office@hakuyu.jp
ホームページ www.hakuyu.jp